

## 資 料

- 資料 1 都立高校の現状把握に関する調査
- 資料 2 今後の都立高校における取組に係る生徒の意見募集の結果について
- 資料 3 都立高校改革推進計画に基づく取組と都立高校の現状  
(平成 24 年度～ 令和 3 年度)
- 資料 4 都立高校等の学校数、学級数、生徒数
- 資料 5 都立高校等の教員数
- 資料 6 都内公立高等学校進路状況の進学者の内訳 (令和 4 年 3 月卒業)
- 資料 7 都内公立高等学校進路状況の就職者の内訳 (令和 4 年 3 月卒業)
- 資料 8 都内公立高等学校卒業者の進路状況推移 (平成 24 年度～令和 3 年度)
- 資料 9 都立高校定時制課程の学校数・生徒数の推移
- 資料 10 都立高校の種類 (令和 4 年度現在)

資料 1



# 都立高校の現状把握に関する調査

令和4年4月  
東京都教育委員会

# 1. 調査概要

目的	都立高校の印象や都立高校に対して期待すること等について把握するとともに、今後の都立高校における取組等を検討する上での参考とするため、都民や企業・大学等を対象として平成8年度から5年ごとに実施
調査実施機関	株式会社CCNグループ
調査方法	インターネットを用いたWEBアンケート方式（平成28年度調査までは郵送による紙様式より実施）
回答状況	【調査期間】 令和3年7月から9月まで

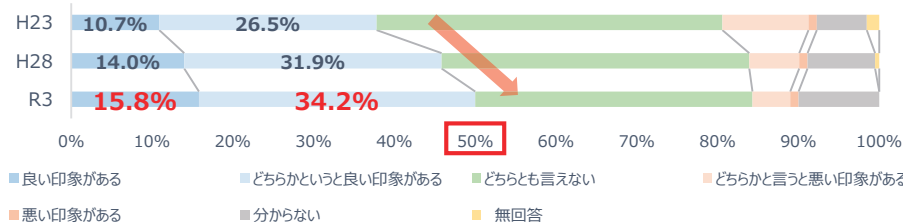
調査対象		開始年度	調査対象数	回答数	回答率	前回(H28)回答率	主な調査項目
都民 (無作為抽出)	19～60歳の都民	H8年度	2,500人	1,141人	45.6%	40.0% (999人/2,500人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>都立高校に対する印象</li> <li>都立高校に期待すること</li> <li>都立専門高校に求めること</li> </ul>
	16～18歳の高校生		500人	204人	40.8%	30.6% (153人/500人)	
企業・大学等	都内の企業	H18年度	460社	121社	26.3%	31.7% (95社/300社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>都立高校に対する印象</li> <li>都立高校に期待すること</li> <li>求められる教養など</li> </ul>
	都内の大学・短大		170校	96校	56.5%	58.0% (58校/100校)	
	都内の専門学校		240校	137校	57.1%	60.0% (60校/100校)	
都内公立中学校3年生		H23年度	17,040人	6,127人	36.0%	82.6% (6,672人/8,080人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校卒業後の進路希望</li> <li>高校の志望理由</li> </ul>
都内公立中学校3年生 保護者			17,040人	2,963人	17.4%	63.1% (442人/700人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校の志望理由</li> <li>都立高校の改善点</li> </ul>
都立高校在校生			131,421人	61,922人	47.1%	85.5% (7,583人/8,870人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の志望理由</li> <li>学校生活に対する満足度</li> <li>高校卒業後の進路希望</li> </ul>

# 結果の概要 ①

## 都民 対象

### ア. 都立高校に対する印象

- 都立高校に対して「良い印象がある」「どちらかというが良い印象がある」とした回答の割合は**増加**
- R3年度調査において肯定的意見が5割**



### イ. 都立高校生のマナーに対する印象

都立高校生のマナーについて「良い」「概ね良い」とした回答の割合は**増加**

質問項目	H23(良い、概ね良い)	R3(良い、概ね良い)
身だしなみ	13.9%	36.4%(+22.5%)
礼儀作法	12.5%	33.5%(+21.0%)
言葉遣い	9.3%	28.8%(+19.5%)
自転車の乗り方	7.5%	22.8%(+15.3%)
公共交通機関(電車・バス)の利用方法	13.2%	31.6%(+18.4%)

### ウ. 高校の選択理由

- 都立高校**に在学中又は卒業した方の上位3項目は「**自宅が近いから**」「**教育費が負担できる範囲だから**」「**男女共学だから**」
- 私立高校(都内・都外問わず)**に在学中又は卒業した方の一番の選択理由は「**大学等の進学に実績があるから**」

【都立高校に在学中又は卒業した方 上位3項目】

H23	H28	R3
教育費が負担できる範囲だから 50.1%	自宅から近いから 38.0%	自宅から近いから 46.8%
自宅から近いから 46.0%	教育費が負担できる範囲だから 35.6%	教育費が負担できる範囲だから 43.9%
男女共学だから 31.4%	男女共学だから 22.4%	男女共学だから 31.6%

【私立高校(都内・都外問わず)に在学中又は卒業した方 上位3項目】

H23	H28	R3
大学等の進学に実績があるから 24.9%	大学等の進学に実績があるから 24.1%	大学等の進学に実績があるから 34.8%
学習指導が充実しているから 大学の附属高校だから 28.6%	周りからの勧めがあったから 20.6%	施設・設備が充実しているから 31.0%
周りからの勧めがあったから 27.1%	学習指導が充実しているから 20.3%	学習指導が充実しているから 30.3%

### エ. 都立高校に期待する役割

「**基礎学力の定着**」「**進路指導の充実**」「**規範意識の向上**」の割合が高い

H23	H28	R3
基礎的・基本的な学力を身に付けさせること 51.5%	基礎的・基本的な学力を身に付けさせること 47.0%	基礎的・基本的な学力を身に付けさせること 52.6%
進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと 44.5%	進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと 44.4%	進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと 46.2%
社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと 40.0%	社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと 40.3%	社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと 30.6%

### オ. 都立専門高校で特に取り組むべきこと

「**スペシャリストの育成**」「**資格・免許の取得**」「**実践的学習の充実**」の割合が高い

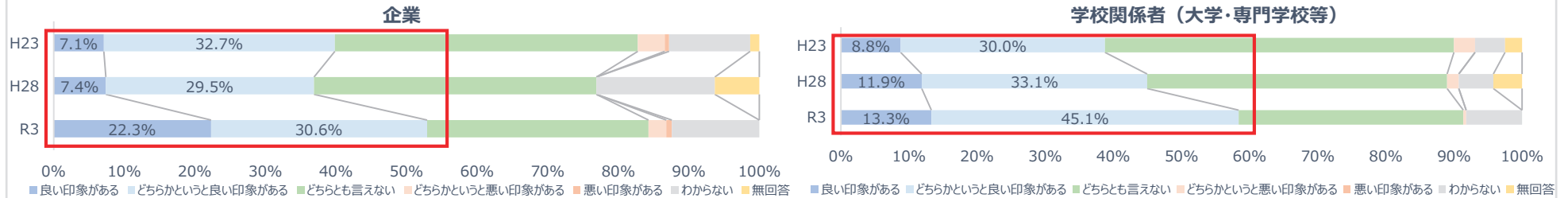
H23	H28	R3
専門的な知識や技術をもつスペシャリストを育てること 54.2%	専門的な知識や技術をもつスペシャリストを育てること 46.7%	専門的な知識や技術をもつスペシャリストを育てること 62.7%
インターンシップ(就業体験)を充実させること 23.7%	資格・免許の取得に向けた支援制度を充実させること 37.8%	資格・免許の取得に向けた支援制度を充実させること 39.4%
実験や実習など、実践的学習を一層充実させること 23.6%	インターンシップ(就業体験)を充実させること 24.1%	実験や実習など、実践的学習を一層充実させること 33.6%

## 結果の概要 ②

### 企業・大学等 対象

#### ア. 都立高校に対する印象

- ・ 企業・大学等ともに都立高校に対して「**良い印象がある**」「**どちらかという和良好的印象がある**」とした回答の割合は**増加**
- ・ R3年度調査においては、企業・大学等ともに**肯定的印象が5割以上**



#### イ. 社会に出るにあたり求められる教養など(企業 上位3項目)

求められる教養などの上位3項目は  
**「一般的な知識・教養」**  
**「社会の基本的なルールやマナー」**  
**「健康・体力」**

	H23	H28	R3
社会の基本的なルールやマナー	91.0%	一般的知識・教養 84.2%	社会の基本的なルールやマナー 85.1%
一般的な知識・教養	85.9%	社会の基本的なルールやマナー 82.1%	一般的な知識・教養 81.0%
健康・体力	69.9%	健康・体力 68.4%	健康・体力 72.7%

#### ウ. 都立高校に期待する役割

企業・学校関係者ともに、上位3項目は「**基礎学力の定着**」「**規範意識の向上**」「**進路指導の充実**」

##### 【企業 上位3項目】

##### 【学校関係者 (大学・専門学校等) 上位3項目】

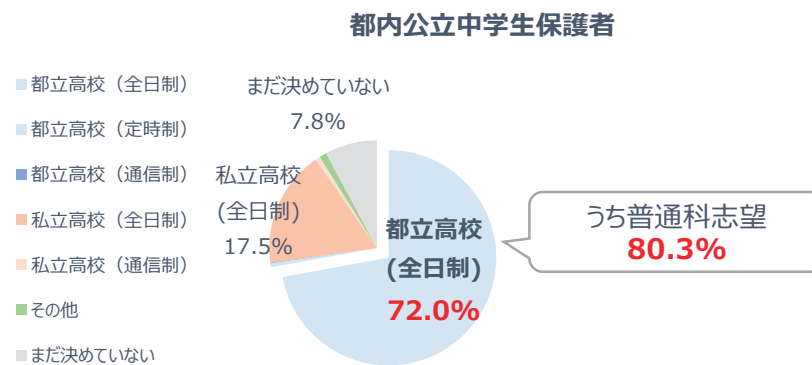
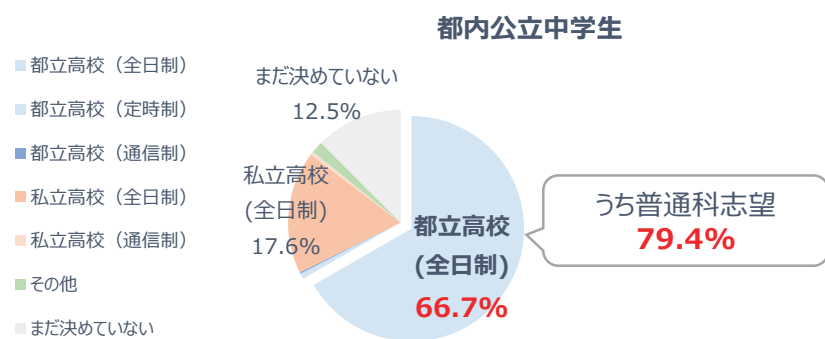
【企業 上位3項目】			【学校関係者 (大学・専門学校等) 上位3項目】		
H23	H28	R3	H23	H28	R3
基礎的・基本的な学力を身に付けさせること <b>75.6%</b>	基礎的・基本的な学力を身に付けさせること <b>65.3%</b>	基礎的・基本的な学力を身に付けさせること <b>61.2%</b>	基礎的・基本的な学力を身に付けさせること <b>77.5%</b>	基礎的・基本的な学力を身に付けさせること <b>83.1%</b>	基礎的・基本的な学力を身に付けさせること <b>77.7%</b>
社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと <b>66.7%</b>	社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと <b>53.7%</b>	社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと <b>53.7%</b>	社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと <b>63.1%</b>	社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと <b>53.4%</b>	社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと <b>54.1%</b>
進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと <b>34.0%</b>	進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと <b>45.3%</b>	進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと <b>42.1%</b>	進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと <b>54.4%</b>	進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと <b>50.8%</b>	進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと <b>46.4%</b>

# 結果の概要 ③

## 都内公立中学生・中学生保護者 対象

### ア. 中学校卒業後の希望進路(中学3年生の夏時点)

- ・ **都立高校全日制を志望**している人の割合は、**都内公立中学生で66.7%、都内公立中学生保護者で72.0%**
- ・ 都立高校全日制を志望している人のうち、**普通科志望**の割合は、**都内公立中学生で79.4%、都内公立中学生保護者で80.3%**



### イ. 高校の志望理由(都内公立中学生)

- ・ **都立高校**志望者、**私立高校**志望者ともに「**学習指導が充実していること**」を重視
- ・ **都立高校**志望者は**自分の学力**や**自宅に近いこと**も重視
- ・ **私立高校**志望者は**施設・設備面**や**大学の附属高校であること**も重視

#### 【上位5項目】

都立高校(全日制)	私立高校(全日制)
学習指導が充実しているから <b>33.8%</b>	施設・設備が充実しているから <b>36.1%</b>
自分の学力に合っているから <b>28.6%</b>	大学の附属高校だから <b>33.5%</b>
学校行事なども充実しているから <b>26.5%</b>	学習指導が充実しているから <b>32.3%</b>
自宅から近いから <b>25.4%</b>	部活動が盛んだから <b>28.0%</b>
男女共学だから <b>19.7%</b>	学校行事なども充実しているから <b>20.1%</b>

### ウ. 高校の志望理由(都内公立中学生保護者)

- ・ **都立高校**志望者、**私立高校**志望者ともに「**学習指導が充実していること**」を重視
- ・ **都立高校**志望の保護者は**子供の学力**や**自宅に近いこと**、**経済的な負担の少なさ**も重視
- ・ **私立高校**志望の保護者は**大学の附属高校であること**や**施設・設備面**も重視

#### 【上位5項目】

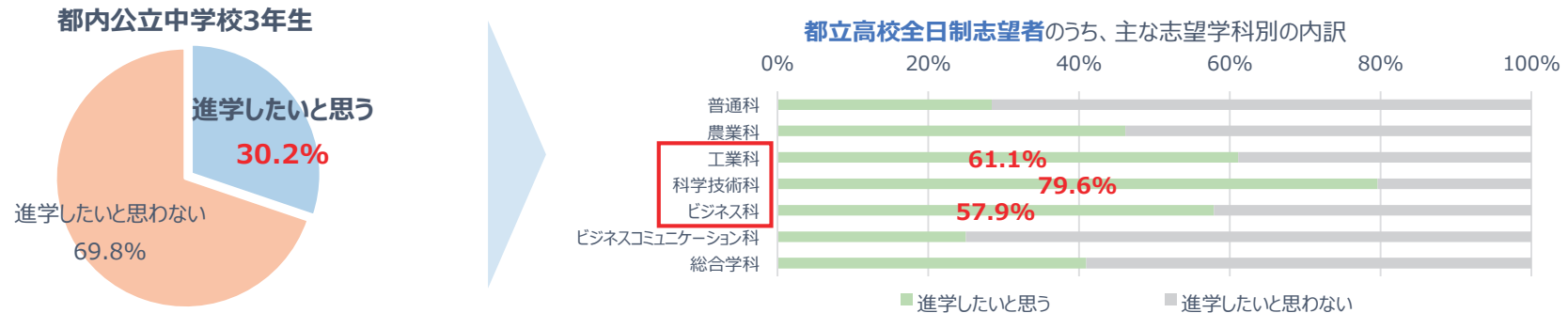
都立高校(全日制)	私立高校(全日制)
本人の学力に合っているから <b>36.5%</b>	大学の附属高校だから <b>40.4%</b>
学習指導が充実しているから <b>31.1%</b>	学習指導が充実しているから <b>33.8%</b>
自宅から近いから <b>30.0%</b>	施設・設備が充実しているから <b>26.2%</b>
経済的な負担が少ないから <b>28.8%</b>	部活動が盛んだから <b>21.8%</b>
大学等の進学に実績があるから <b>25.4%</b>	本人の学力に合っているから <b>19.2%</b>

## 結果の概要 ④

### 都内公立中学生・中学生保護者 対象

#### エ. コンピュータやプログラミングを専門的に学ぶ学校に対するニーズ(都内公立中学校3年生)

- ・ 都内公立中学校3年生の**約3割**が進学に肯定的
- ・ 特に都立高校全日制の**科学技術科、工業科、ビジネス科**を志望している生徒の**進学意向が高い**



#### オ. 都立高校に不足していると思う点のうち改善を要する点(都内公立中学校3年生 保護者)

- ・ 改善点として「**施設・設備を充実させること**」「**社会の変化に対応できる能力を身に付けさせること**」の割合が高い
- ・ 令和3年度調査では、新規項目の「**デジタル技術を活用した教育を充実させること**」が「大学への進学を目指した学習を充実すること」を上回り**3位**

##### 【上位5項目】

H23	H28	R3
施設・設備を充実させること <b>43.5%</b>	施設・設備を充実させること <b>55.4%</b>	施設・設備を充実させること <b>46.3%</b>
社会の変化に対応できる能力を身に付けさせること <b>40.6%</b>	社会の変化に対応できる能力を身に付けさせること <b>42.1%</b>	社会の変化に対応できる能力を身に付けさせること <b>30.8%</b>
大学への進学を目指した学習を充実すること <b>38.1%</b>	大学への進学を目指した学習を充実すること <b>33.0%</b>	デジタル技術を活用した教育を充実させること <b>28.9%</b>
それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと <b>36.3%</b>	それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと <b>28.3%</b>	大学への進学を目指した学習を充実すること <b>25.4%</b>
社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと <b>36.1%</b>	社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと <b>20.8%</b>	それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと <b>15.8%</b>

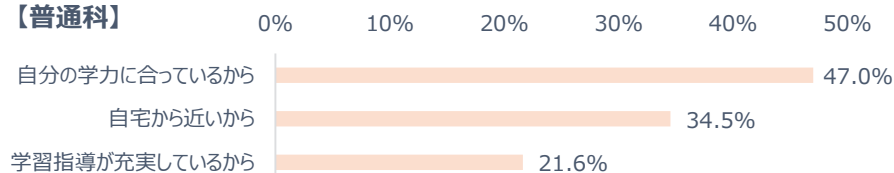
## 結果の概要 ⑤

### 都立高校在校生 対象

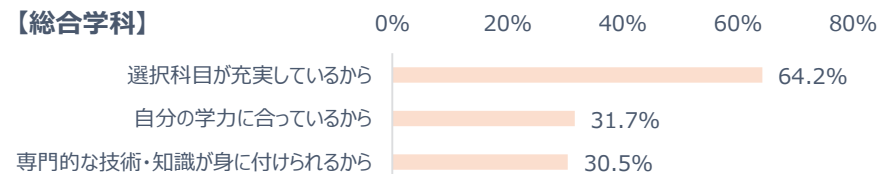
#### ア. 全日制課程の主な学科に通学している生徒の志望理由(上位3項目)

- ・ **普通科**に通学している生徒は**自分の学力にあっていること**や**自宅からの近さ**、**学習指導が重視していること**を重視
- ・ **総合学科**や**専門学科**に通学している生徒は、専門性など**学校の特色を理解して入学**

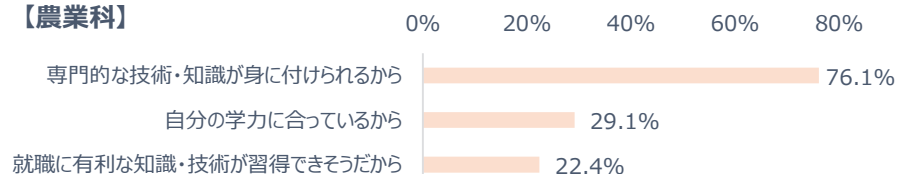
#### 【普通科】



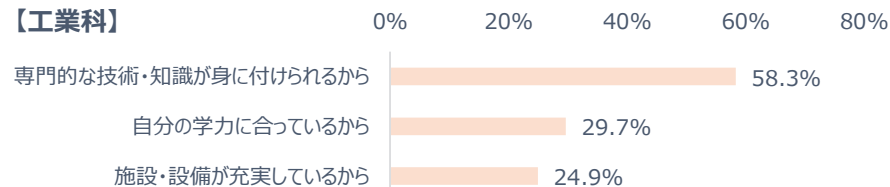
#### 【総合学科】



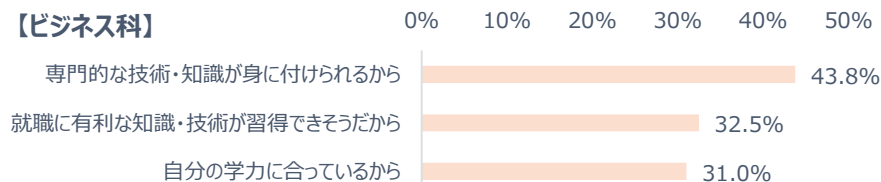
#### 【農業科】



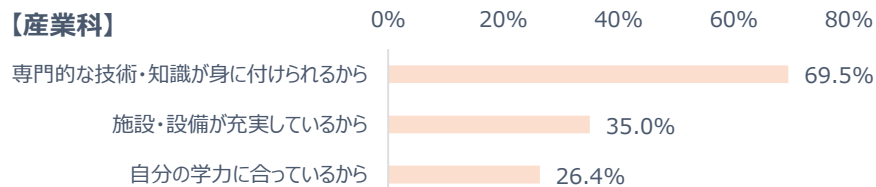
#### 【工業科】



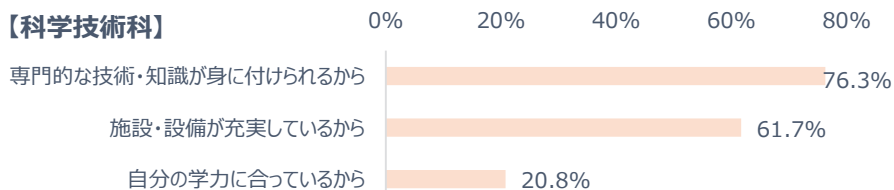
#### 【ビジネス科】



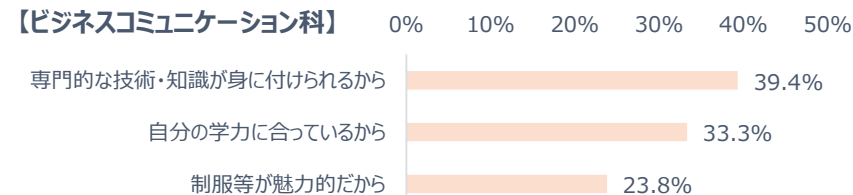
#### 【産業科】



#### 【科学技術科】



#### 【ビジネスコミュニケーション科】



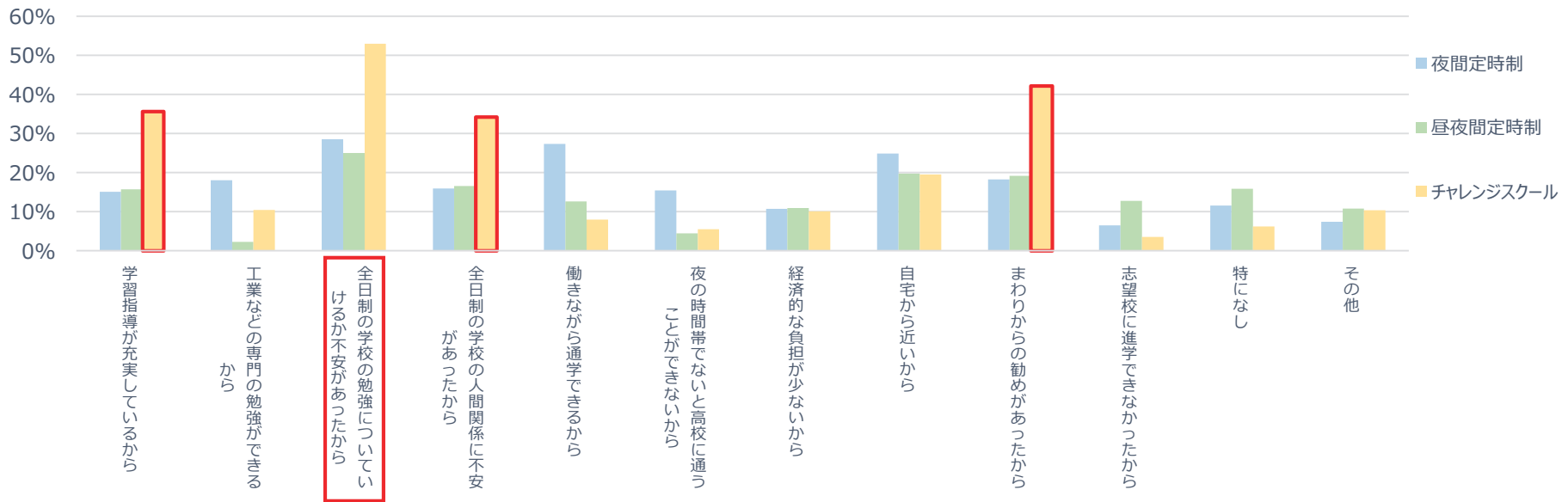


# 結果の概要 ⑥

## 都立高校在校生 対象

### イ. 定時制課程に通学している生徒の志望理由

- ・「全日制課程の勉強についていけるか不安があった」という生徒の割合が高い
- ・チャレンジスクールでは、「まわりからの勧め」や「学習指導の充実」、「全日制の学校の人間関係への不安」を志望動機に挙げている生徒の割合も高い



### ウ. 定時制課程に通学している生徒の中学生時代の傾向

- ・中学校時代は「学校に行きたくないと思う」「勉強についていけない」「集団で過ごすことが苦手だった」という生徒の割合が多い
- ・特にチャレンジスクールにおいて傾向が顕著

夜間定時制	昼夜間定時制	チャレンジスクール
学校に行きたくないと思うことがあった <b>50.4%</b>	学校に行きたくないと思うことがあった <b>51.2%</b>	学校に行きたくないと思うことがあった <b>75.6%</b>
学校の勉強についていけないことが多かった <b>46.4%</b>	学校の勉強についていけないことが多かった <b>46.3%</b>	学校の勉強についていけないことが多かった <b>52.7%</b>
集団で過ごすことが苦手だった <b>30.0%</b>	様々な人と気軽に話すことができた <b>35.2%</b>	集団で過ごすことが苦手だった <b>44.9%</b>

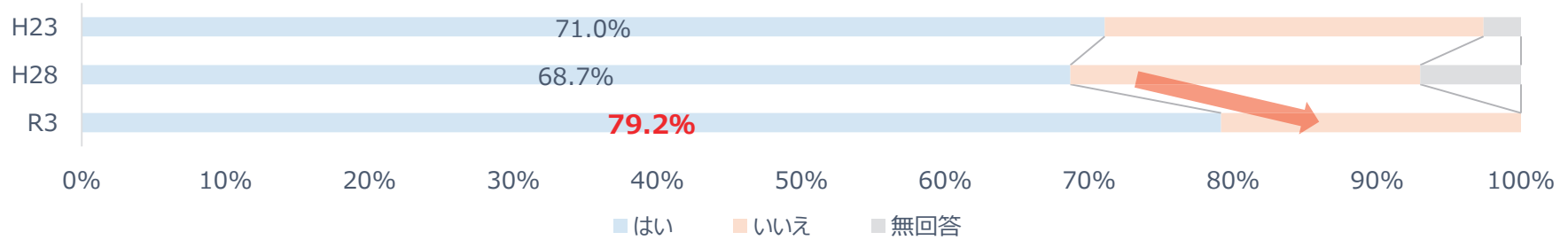
# 結果の概要 ⑦

## 都立高校在校生 対象

### 工. 現在通学している学校が第一志望だった生徒の割合

現在通学している高校が**第一志望だった生徒の割合が増加**

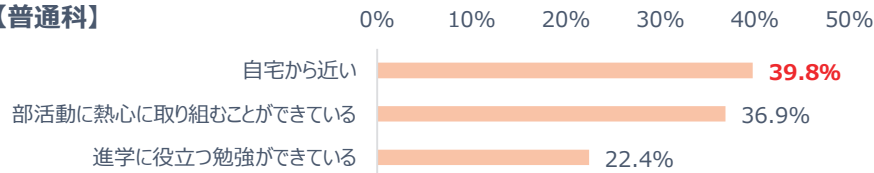
高校進学するとき第一志望だったか



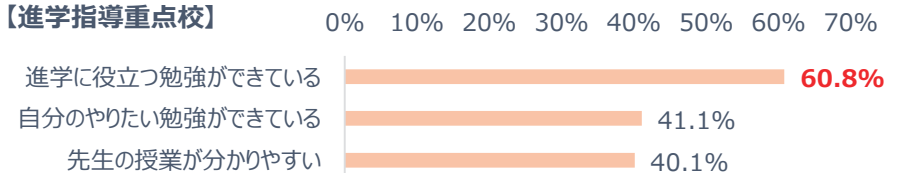
### オ. 現在通っている学校で、特に良かったと思う点(普通科 上位3項目)

- 普通科全体では、**自宅から近さ**や**部活動に熱心に取り組んでいること**に対する**満足度が高い**
- 進学指導重点校では、**進学に向けた勉強に対する満足度が高い**

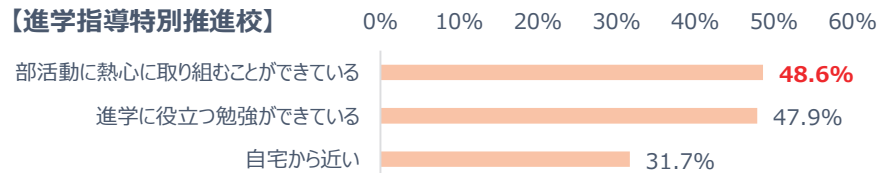
#### 【普通科】



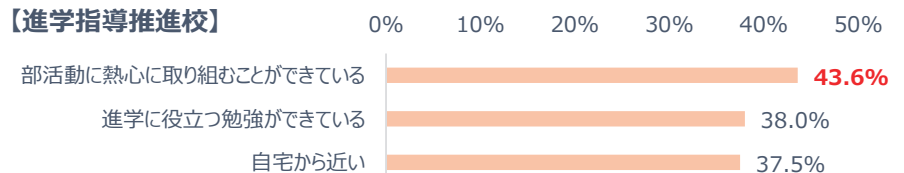
#### 【進学指導重点校】



#### 【進学指導特別推進校】



#### 【進学指導推進校】



# 結果の概要 ⑧

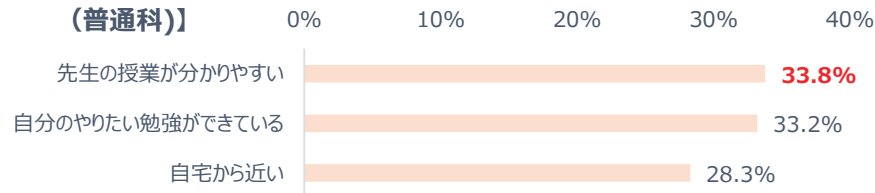
## 都立高校在校生 対象

### カ. 現在通っている学校で、特に良かったと思う点(エンカレッジスクール、総合学科、専門学科 上位三項目)

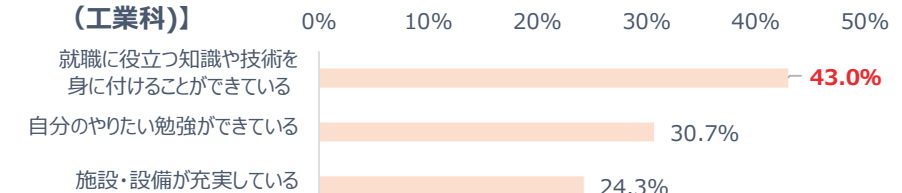
- ・ 普通科のエンカレッジスクールでは、**授業の分かりやすさに対する満足度が高い**
- ・ 総合学科や専門学科では、その**学科独自の学びに対する満足度が高い**

- ・ 科学技術科では、**施設・設備に対する満足度が高い**

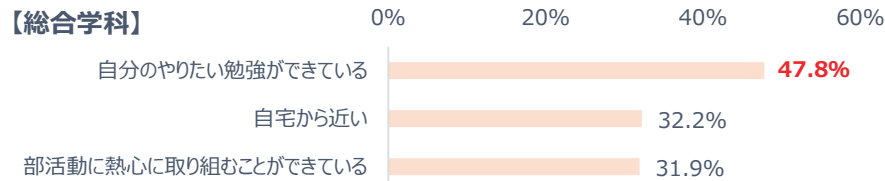
#### 【エンカレッジスクール (普通科)】



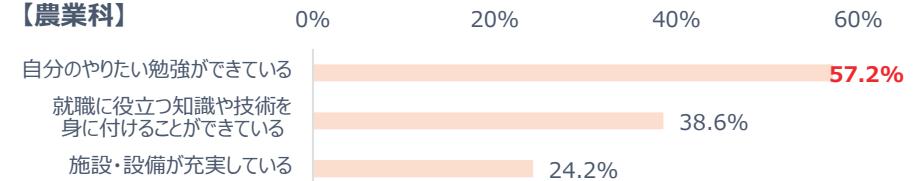
#### 【エンカレッジスクール (工業科)】



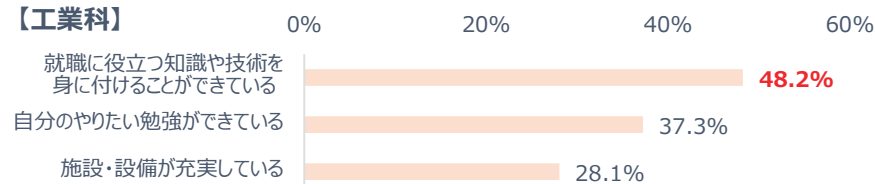
#### 【総合学科】



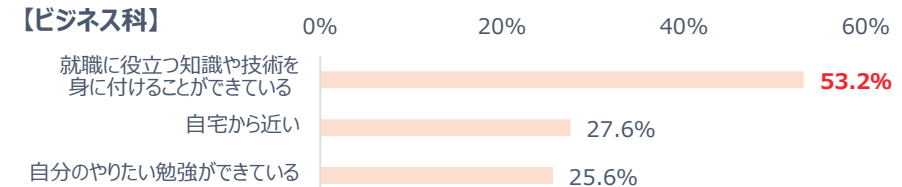
#### 【農業科】



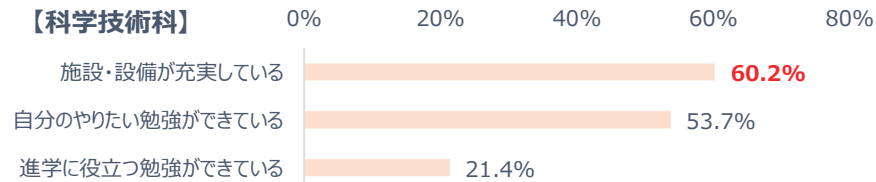
#### 【工業科】



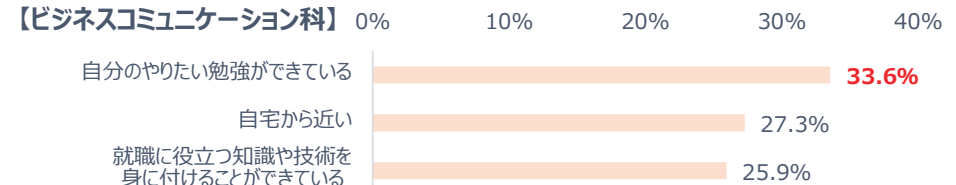
#### 【ビジネス科】



#### 【科学技術科】



#### 【ビジネスコミュニケーション科】



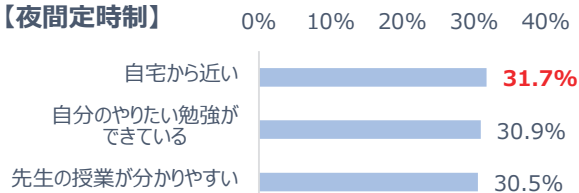
## 結果の概要 ⑨

### 都立高校在校生 対象

#### キ. 現在通っている学校で、特に良かったと思う点(定時制課程 上位三項目)

- 定時制課程では、**やりたい勉強ができていたり先生の授業の分かりやすさ**に対する**満足度が高い**

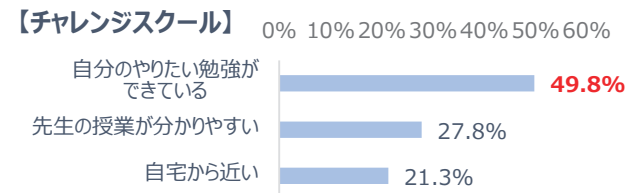
##### 【夜間定時制】



##### 【昼夜間定時制】



##### 【チャレンジスクール】



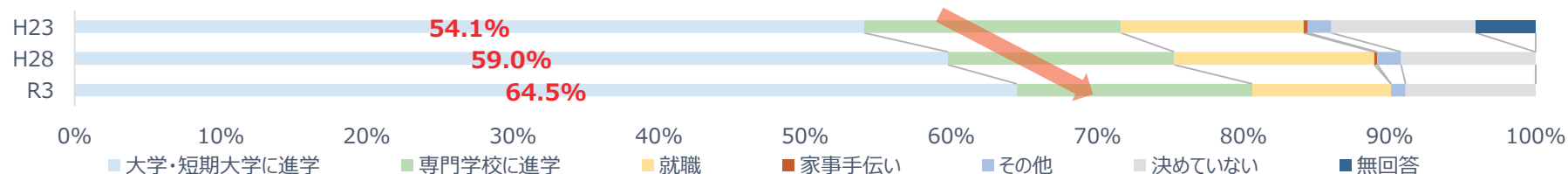
#### ク. 今通っている高校の先生に対する印象

質問各項目において、「そう思う」「多少そう思う」の割合が**増加**

質問項目	H23(そう思う、多少そう思う)	H28(そう思う、多少そう思う)	R3(そう思う、多少そう思う)
教育に熱心である	56.4%	58.5%(+2.1%)	<b>75.3%(+16.8%)</b>
信頼できる	49.2%	52.6%(+3.4%)	<b>71.2%(+18.6%)</b>
生徒をよく理解している	37.7%	41.6%(+3.9%)	<b>62.4%(+20.8%)</b>
授業が上手である	39.8%	42.0%(+2.2%)	<b>63.5%(+21.5%)</b>
部活動の指導に熱心である	43.4%	45.3%(+1.9%)	<b>62.1%(+16.8%)</b>
保護者によく連絡をとっている	22.2%	25.8%(+3.6%)	<b>36.5%(+10.7%)</b>

#### ケ. 卒業後の希望進路

- 大学・短大への進学を希望する生徒の割合が**増加**
- 専門学校等への進学を含めると、R3年度調査では**8割**を超える生徒が**進学を希望**



## 結果の概要 ⑩

### 今後の都立高校に対して（自由意見）

Q:ポストコロナの時代における、都立高校での学びや人材育成などについてご意見をお聞かせください。

集計結果		
一般都民：意見総数 798件 企業・大学等：意見総数 158件		
項目	一般都民	企業・大学等
デジタル化への対応に関すること オンライン授業等デジタル環境の充実・活用、オンラインと対面の融合 など	227件	15件
人材育成に関すること 基礎学力や規範意識の定着、デジタルリテラシーを身に付けた人材の育成 グローバル教育の充実、コミュニケーション能力や協調性の伸長 主体的・探究的な学びの充実 など	253件	86件
生徒の多様化に関すること 生徒の個性を活かす教育の充実、生徒の多様性への対応 など	40件	9件
コロナ禍における教育活動の継続に関すること 従来の学校生活・教育活動への立ち返り、部活動や学校行事等の実施・充実 など	53件	4件
生徒に対する支援に関すること コロナ禍における生徒の精神面の支援 経済的に困難な生徒に対する学習機会の確保 など	28件	4件
教育諸条件に関すること 教員の質の充実、感染拡大防止の徹底 など	55件	5件
都立高校の特色化に関すること	25件	1件
その他	12件	2件
特になし	105件	32件
<b>総件数</b>	<b>798件</b>	<b>158件</b>

### 主な意見の内容

#### デジタル化への対応

- ▶ いざという時のためにオンライン授業などの取組は進んでほしいが、家庭による格差を拡げてはいけない。
- ▶ 都立高校生だが、リモートの活用やデジタル教育は不十分だと思う。
- ▶ 私立高校に負けないデジタル環境の整備と教員のリテラシー向上が必要。
- ▶ オンラインでの交流が当たり前になったことで国際交流はマストである。
- ▶ リモートに偏らない安全に配慮したリアルな学びや体験をさせてあげて欲しい。

#### 都立高校での学び・人材育成

- ▶ 先行き不透明な社会になっていく中でも、変わらず基礎的な学力定着、社会人としての人格形成、特別な事情を抱える生徒への支援などを図るべき。
- ▶ これからの教育は「先生が教えて生徒が学ぶ」から「生徒の好き・やりたい」を見つけて実践できる場に。世の中の課題を見つけて解決できる高校生を増やして欲しい。
- ▶ 大学でも困らないレベルのプログラミング教育（c言語やpythonなど）を行う。
- ▶ 探究や研究など、主体的な学びを重視すべき。
- ▶ 学校は人間関係形成の大切な場なので、対面授業に注力して欲しい。

#### その他、都立高校に求めること

- ▶ 公立学校の役割として、教育の機会均等、格差を失くすことが重要。
- ▶ 男女別定員を撤廃すべき。
- ▶ オンライン授業になり子供達同士の交流が減り、メンタル面等が心配。

# 調査結果のまとめ

## 結果のまとめ

### 都立高校に対する評価

- ▶ 都民や企業・大学等からの都立高校や都立高校生に対する**印象は向上**
- ▶ 中学校3年生及びその保護者の**約7割が全日制の都立高校を志望**しており、うち約8割が**普通科志望**
- ▶ 中学校3年生及びその保護者が全日制の都立高校を選択する理由として、「**学力に合っているか**」や「**自宅からの近さ**」、「**経済的な負担**」を重視
- ▶ **都立高校在校生**のうち、**約8割の生徒が現在の高校を第一志望**として進学
- ▶ **都立高校在校生**は各課程・学科において**特色や設置目的に沿った志望理由**により入学しており、かつ**満足度も高い**
- ▶ **都立高校在校生**からの**教員に対する印象は向上**

▶▶ **都民や企業・大学等、生徒や保護者は都立高校に対して一定の評価**

### 都立高校への期待・要望

- ▶ **基礎学力**の定着や**進路指導**の充実
- ▶ **デジタルの活用**による**多様な学び方**への対応
- ▶ **デジタルリテラシー**を備えた人材や**グローバル人材**の育成
- ▶ 探究や研究などの**主体的な学び**の重視
- ▶ 発達障害など**特別な事情を抱える生徒**への支援
- ▶ **施設・設備**の一層の充実

▶▶ **都立高校におけるデジタル化の推進や人材の育成などについて様々な意見**

上記の調査結果に加え、学校を取り巻く状況や社会の変化等を踏まえ、今後の都立高校に求められる役割等について整理した上で、当面取り組むべき喫緊の課題解決に向け、今後、着実に施策を展開していく。

I 概要

目的

今後の都立高校における取組を検討するに当たり、生徒目線の意見や考えを取組の参考とする。また、生徒自身が東京都の取組検討の過程において意見を述べることにより、社会参画意識を醸成する。

実施方法

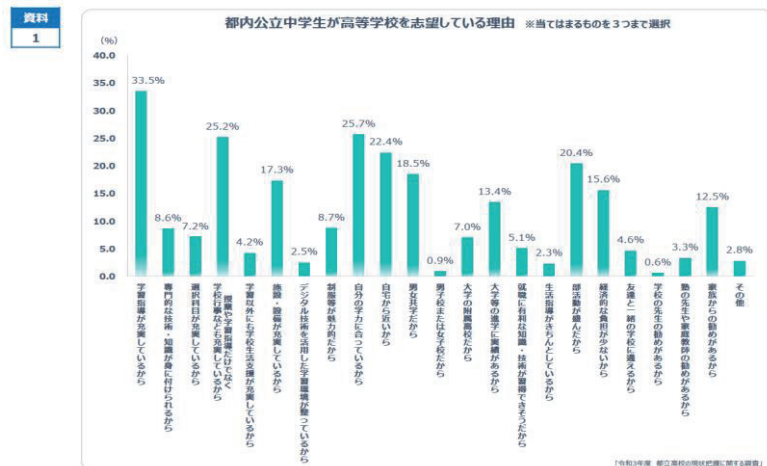
対象者：学科、課程等を考慮し選定した都立高校等の生徒  
 応募方法：Microsoft FormsによるWeb回答方式  
 実施時期：令和4年7月

議題

日本を取り巻く環境は様変わりし、今後、時代を切り拓き、未来を担う多彩な「人」を育てていくことが必要とされています。東京都教育委員会では、こうした時代を切り拓く力を育て、子供の可能性を伸ばすことができる、魅力ある都立高校づくりに向けた新たな取組を検討しているところです。

そこで皆さんにお聞きします。**自分の学校が中学生に選ばれる、魅力ある学校になるために必要なことは何だと思えますか。**  
 別紙資料を参考に、皆さんの自由な意見をお聞かせください。

「入力フォーム画面」



**東京都教育委員会の主な取組**

東京都教育委員会では、「東京の目指す教育（誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育）」の実現に向け「東京型教育モデル」を実践しています。

**新たな東京型教育 モデル パージョンアップの全体像**

～個性や能力に向き合いの幅が広がる「学び」への転換～  
 ～東京の強みを活かし、子供目線を大切にする「学び」への転換～

**教育のデジタル化**

- 一人1台端末活用
- 一人1台端末の実用と活用促進を推進
- 私立高校において1台1台端末活用を推進
- 私立高校において1台1台端末活用を推進
- TKOYOデジタルリーダーシップハイスクール等による学習環境等のデータ分析・活用等を実施

**外部人材を活用**

- 職業実習協力校の確保・実施促進
- 専門高校等に協力企業等の人材を派遣
- 小学校の外部活動や体育等の授業で、外部人材を特別非常勤講師として活用

**小学校教員担任制**

- 小中学校教科担任制を推進
- 小学校教員担任制を推進
- 小学校教員担任制を推進

**教員の負担軽減**

- 教員負担軽減
- 教員負担軽減
- 教員負担軽減

**一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばす学び**

- 個性や能力を伸ばす学び
- 個性や能力を伸ばす学び
- 個性や能力を伸ばす学び

**誰一人取り残さないきめ細かな教育**

- 誰一人取り残さないきめ細かな教育
- 誰一人取り残さないきめ細かな教育
- 誰一人取り残さないきめ細かな教育



## II 実施結果

### ① 応募件数

21校 延べ 1,929 件（一人が複数回応募することも可能）

### ② 主な意見のキーワード

デジタル	• プログラミングの授業、オンライン授業の実施、通信環境の改善 など
グローバル	• 海外の学校との交流、英語教育の充実 など
学習指導	• 進学実績を上げるための独自の取組、個に応じた学び など
部活動	• 部活動の強化、部活動の充実 など
学校行事	• 生徒主体の行事運営、学校行事のアピール など
多様性	• 個性の尊重、ジェンダーへの配慮 など
魅力の発信	• ホームページの充実、SNSを活用した学校紹介、学校見学の機会 など
教職員の質	• 相談しやすい先生、分かりやすい授業 など
生徒意見の反映	• 生徒意見を取り入れる機会、学校運営に生徒が関われる機会 など
生徒のマナー	• 挨拶の徹底、登下校時の身だしなみやマナー など
地域との交流	• 地域活動への参加、地域の小・中学校等との交流、地域でのボランティア活動 など
施設・設備等	• 最新の施設・設備、悩み事を相談できる場所 など

中学生に選ばれる魅力ある都立高校



### Ⅲ 主な意見内容①

#### デジタル

魅力化のために必要なこと	その理由
① 授業にプログラミングを取り入れること	① 今の時代はプログラミング能力も重要になっていて、将来役に立つ可能性が高いから
② 新しい社会を生き抜くための授業を導入すること	② 様々な職業や街並み、生活などが大きく変わっていく社会で生きていけるように、今のうちに電子機器に慣れていく必要があると思うから
③ オンライン授業を実施すること	③ 環境変化が多かったり、体調が悪かったり、コロナに感染していても授業を受けることができるから
④ デジタル技術を活用した学習環境や通信環境を整えること	④ 生徒の情報活用能力を養うことに加え、個別学習が可能となるから

#### グローバル

魅力化のために必要なこと	その理由
① 海外の学校との交流を増やすこと	① 国内にいながら、英語を使う機会が自然に持てたら魅力的だと思うから
② 英語教育を充実させること	② グローバル化していく社会の中で、英語の能力を高めたいと考えている人は多いと思うから

#### 学習指導

魅力化のために必要なこと	その理由
① 進学実績を上げるために学校で特別な取組を行うこと	① 塾に行かなくても良いというのは、費用の面で助かるから
② 受験サポートが手厚いこと	② 自分が受験生になって、学校の勉強サポートが手厚い学校に通いたいと強く感じるようになったから
③ 一人一人に合った授業をすること	③ 勉強が苦手な人、大人数が苦手な人、話すのが苦手な人など様々な人がいる中で、生徒一人一人に合った授業をすることは、落ち着いた環境で学ぶことになり、その学びを将来に活かすことにも繋がると思うから

#### 部活動

魅力化のために必要なこと	その理由
① 部活動の大会などで良い成績を残すこと	① 部活動は強いところに入りたい人が多いと思うので、良い成績を残せば学校の魅力になると思うから
② 部活動を充実させること	② 部活動が充実していると学校内だけでなく学校外での関わりが持てるので、より楽しくなると思うから

#### 学校行事

魅力化のために必要なこと	その理由
① 生徒が主体となって行事を運営すること	① 特有の伝統があったり生徒主体で運営していたりする姿は他の学校と差別化できるし、魅力的に映ると思うから
② 学校行事を全面的にアピールすること	② 学習以外でも、学校行事などのイベントの充実感を重視している人も多くいると思うので、そういう面のアピールも大切だと思うから
③ 文化祭や学校説明会に多くの人を呼ぶこと	③ 実際に学校の雰囲気を見てもらえばそれぞれの思い描く高校なのか分かるから

#### 多様性

魅力化のために必要なこと	その理由
① 個性を尊重し地域の人と一緒に学校を作っていくこと	① グローバル社会、LGBTなどの人たちが孤独にならないように、一人一人の個性を大切にして、多くの地域の人と関わりあい、信頼してもらえ学校を作っていけたら良いと思うから
② ジェンダーに配慮した学校にすること	② 高校生の人権を大切にして、個性を尊重してほしいと思うから

### Ⅲ 主な意見内容②

#### 魅力の発信

魅力化のために必要なこと	その理由
① ホームページの充実化	① 学校のホームページが更新されていないか、最低限の情報しか記載されていないと学校の魅力が伝わらず学校選びの参考にならないため
② SNSを活用して生徒目線で情報を発信すること	② 生徒からの主観を交えた現実味のある言葉の方が面白いと感じ、自分もそれを期待していたから
③ 学校見学などの機会を多くして、いろんな人に魅力を知ってもらうこと	③ コロナ禍真っ只中で、かつ都外からの受験だったため、志望校探しの時に、見学などに行ったり調べるのが大変だったから
④ 専門的な知識が得られることをアピールすること	④ 将来についてちゃんと考えている受験生には魅力的だと感じるから

#### 教職員の質

魅力化のために必要なこと	その理由
① 話しやすい先生がいること	① 授業でわからなくなった時や問題に詰まった時に気軽に質問しに行くことが出来て授業の理解を深めることができるから
② 先生の授業が面白くて聞き取りやすいこと	② 学校にいる時間のほとんどが授業なので、授業がつまらなかったり、聞き取りにくいと学校がつまらなくなり魅力を感じなくなるから

#### 生徒意見の反映

魅力化のために必要なこと	その理由
① 在校生の意見を定期的に取り入れ、改善していくこと	① 生徒の意思を尊重する学校だと中学生に示すことができるから
② 生徒が主体となって学校運営ができる環境を作ること	② 生徒が主体となり、自分たちでルールを作る・見直す環境を与えることが、「中学校にはない自由を満喫したい」という中学生には響くと思うから

#### 生徒のマナー

魅力化のために必要なこと	その理由
① 学校の先生などには勿論、近隣の方や、校外学習の時に周りの方々に挨拶をするなど挨拶の盛んな明るい学校にすること	① 基本的なことだけど、しっかり挨拶ができる学校は少ないと感じるし、挨拶をしないとしないのではその学校への印象がガラリと変わると感じるから
② 登下校時の身だしなみやマナーをよくすること	② 制服を着ていると高校付近に住んでる人はどの高校か分かり、だらしないと感じないと思うから

#### 地域との交流

魅力化のために必要なこと	その理由
① 地域活動への参加や周辺学校との連携行事を行うこと	① 地域活動への参加をすれば、自然と他の学校の生徒や一般の方の輪の中に入っていくため、何かしらのキッカケで学校のことを知ってもらい広めてもらうことができるから
② 校内だけでなく周りの小・中・高校や地域の方々とのコミュニケーションが取れる行事をすること	② 校内だけでは身に着けることが難しい年上・年下の方とのコミュニケーション能力を身に着けることができることに加えて、コミュニケーションを通じて人から人へと魅力が伝わっていくと考えたから
③ 地域の人とボランティア活動をする	③ 地域の人との触れ合いをすることで魅力が色んなところに伝わると思うから

#### 施設・設備等

魅力化のために必要なこと	その理由
① 老朽化した設備を改修すること	① 老朽化して壊れている設備は学校見学に来ている人にとってマイナスポイントになり得るから
② 最新の学習環境が整っていること	② 時代に合った学習環境で勉強することで社会に出たときの活動がスムーズになるから
③ 生徒が自分の悩み事を相談できる場所を作ること	③ 悩み事を相談できる場所を作らないと、自分一人で悩みを抱えることになってしまい、のびのびと学生生活を送ることができないから

# 都立高校改革推進計画に基づく取組と 都立高校の現状 (平成24年度～令和3年度)

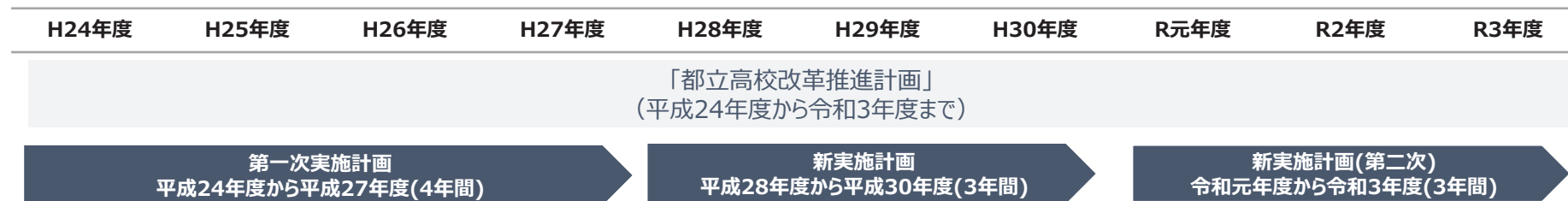
令和4年7月



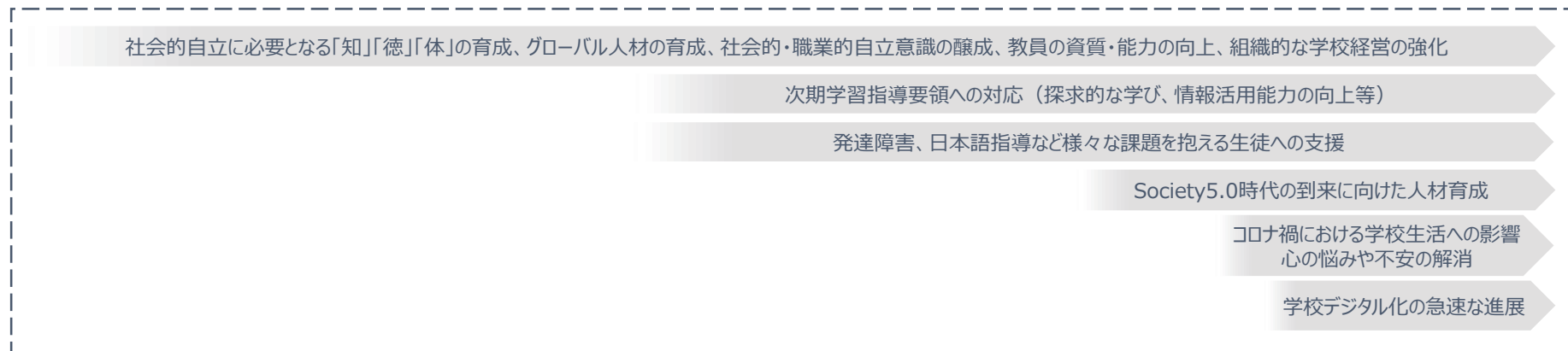
# 都立高校改革推進計画（平成24年度～令和3年度）の概要

目的 教育基本法の理念を踏まえ、都立高校が生徒を「真に社会人として自立した人間」に育成

計画期間



課題・社会的背景



計画の主な取組：「知識基盤社会」の到来等を踏まえ、次の視点から多様な取組を展開

## I 教育内容

次代を担う社会的に自立した人間の育成

- ▶【知】理数教育の推進、次世代リーダー育成道場
- ▶【徳】SNSを活用した教育相談体制の構築
- ▶【体】基礎体力の向上、部活動指導員の活用

## II 教育諸条件

質の高い教育を支えるための環境整備

- ▶不登校・中途退学対策（自立支援チーム）
- ▶教員の資質・能力の向上（研修の充実）
- ▶教員の働き方改革（外部人材の活用）

## III 学科・課程の改善・充実等

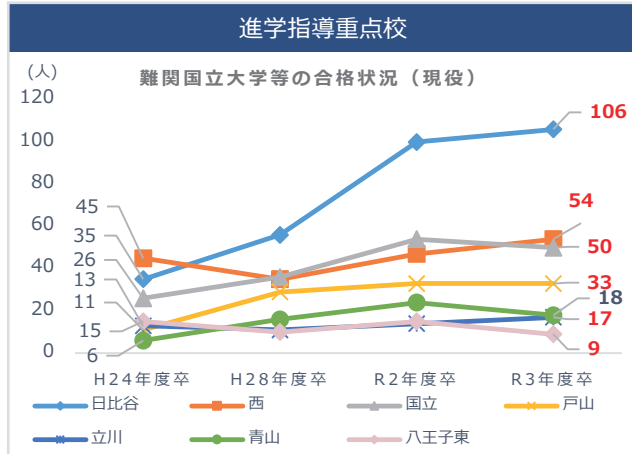
生徒一人一人の能力を最大限に伸ばす  
学校づくりの推進

- ▶国際バカロレア教育の充実
- ▶専門高校の充実
- ▶小中高一貫校の設置

# 都立高校改革推進計画における主な取組の実績・現状

## I 教育内容（次代を担う社会的に自立した人間の育成）

知



### 理数教育の充実

科学オリンピックにおいて都立高校生がメダルを獲得

年度	国際物理オリンピック	メダル	国際生物学オリンピック	メダル	国際地学オリンピック	メダル
H25			西	銀		
H27	小石川中等	銅				
H29					小石川中等	金
H30			西	銅		
R3	武蔵	銀	多摩科技	銅		

### 校内寺子屋

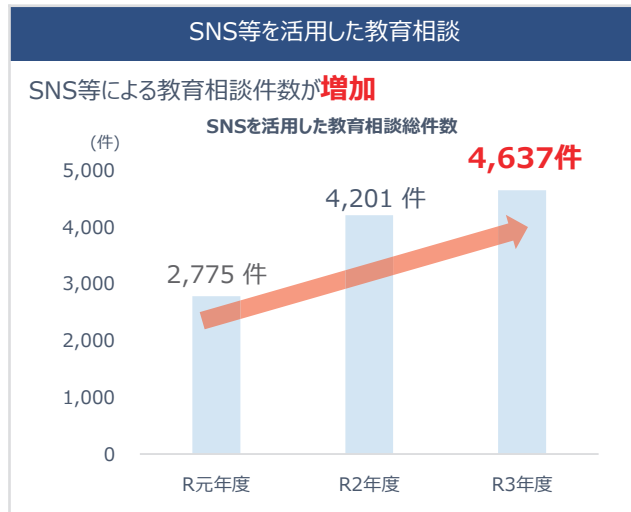
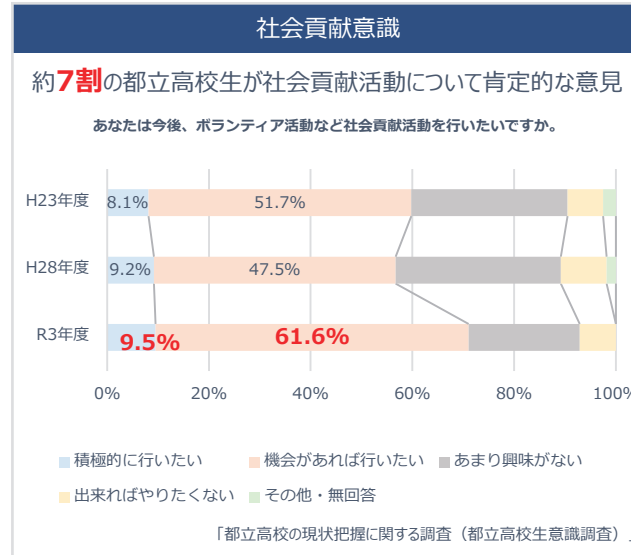
校内寺子屋に継続的に参加した生徒の7割が学びに関する質問項目で肯定的な回答(R3年度)

【参加した生徒の声】

「学習意欲が向上した」

「分からない問題が分かるようになった」

徳



体

### 体力の向上

体力テストの体力合計点において都立高校生の平均値が令和3年度は低下

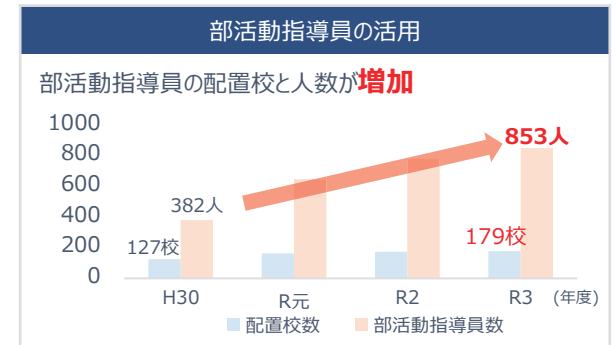
	H23年度	R元年度	R3年度	増減
高2男子	51.4点	52.4点	51.4点	-1.0点
高2女子	48.0点	51.5点	51.0点	-0.5点

※80点満点

### スポーツ特別強化校

大会に出場した都立高校生のうちスポーツ特別強化校生徒が占める割合の増加

	H26年度	R3年度
関東大会出場率（個人種目）	49.0%	54.5%
全国大会出場率（個人種目）	42.7%	48.5%



資料

3

都立高校改革推進計画に基づく取組と都立高校の現状

# 都立高校改革推進計画における主な取組の実績・現状

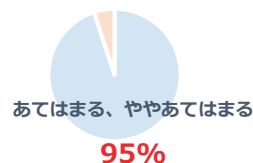
## グローバル人材

### 次世代リーダー育成道場

海外留学を経験した生徒の**9割以上**が  
語学力や主体性・積極性、異文化理解の向上を実感

英語力（語学力）が向上した

主体性・積極性、チャレンジ精神が向上した



「次世代リーダー育成道場第7期生事業報告書」



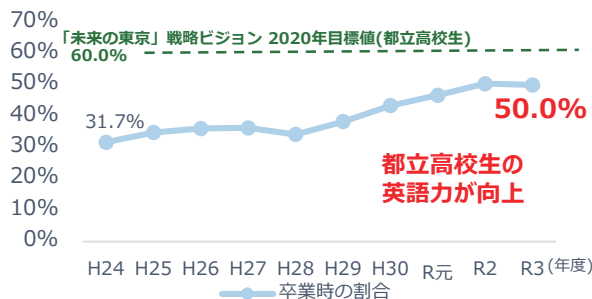
日本と諸外国との生活や文化の違いを理解し、尊重している



「次世代リーダー育成道場追跡調査（第1期生から第5期生）」（令和3年度）

### 生徒の英語力向上

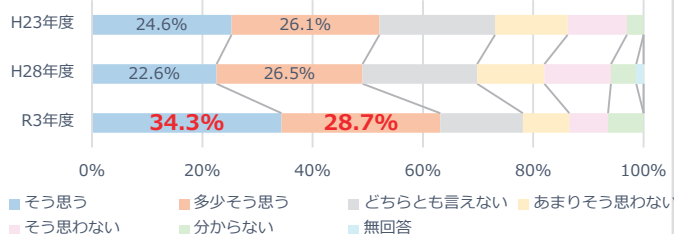
CEFR A2相当以上を取得している都立高校生の割合



### 国際交流

**6割**を超える都立高校生が  
外国の人々とのコミュニケーションについて肯定的な意見

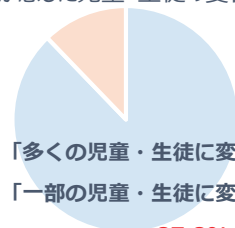
あなたは外国の人々と進んでコミュニケーションをとりたいと思いますか



### TOKYO GLOBAL GATEWAY

**8割**を超える児童・生徒に、英語への学習意欲や苦手意識に  
変容が見られた

【教員が感じた児童・生徒の変容の有無】



【児童・生徒の感想】

事前アンケート	体験後の感想
英語が好きではない	「とても楽しかった」又は「楽しかった」
英語があまり好きではない	<b>91.0%</b>
	<b>96.8%</b>

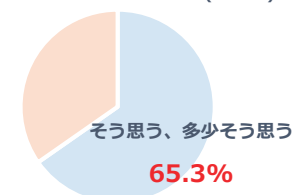
「H30年度、R元年度利用者のアンケート」

## 社会的・職業的自立意識

### 主権者教育

**6割**を超える都立高校生が  
積極的な社会への参画について肯定的な意見

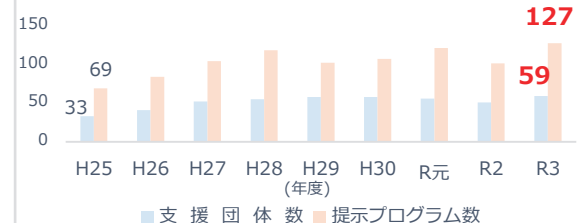
あなたは、選挙の投票にいくなど積極的に社会に参画していきたいと思いませんか。（R3年度）



「令和3年度 都立高校の現状把握に関する調査（都立高校生意識調査）」

### 社会的・職業的自立支援教育プログラム事業

社会的・職業的自立支援教育プログラムの実施状況



【生徒の感想】

「様々な職業人からリアルな話を聞くことなどで、**仕事は面白く、熱中できることだと思えるようになった**」  
「**学校で学ぶことが、将来の仕事や社会で役立つと考えられるようになった**」

発達障害のある生徒への支援

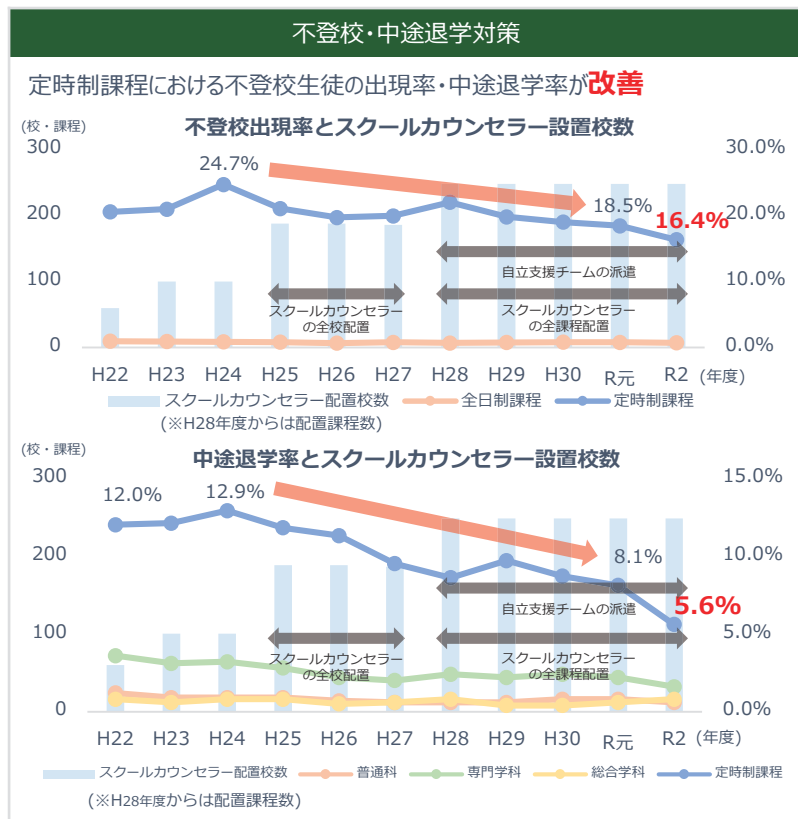
**26課程81人**に対し通級による指導を実施

（令和4年1月現在）

# 都立高校改革推進計画における主な取組の実績・現状

## II 教育諸条件（質の高い教育を支えるための環境整備）

### 不登校・中途退学

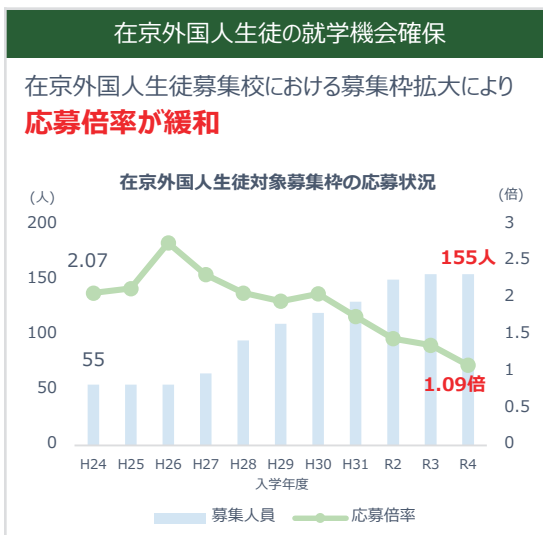


### 課題を抱える生徒の居場所づくり（学びのセーフティネット事業）

「丁寧な学習支援を受けたことで、レポート作成に前向きに取り組めるようになった」「対人コミュニケーションに自信を持つことができ、アルバイトを始められるようになった」など**学習意欲や就業意欲を促進**

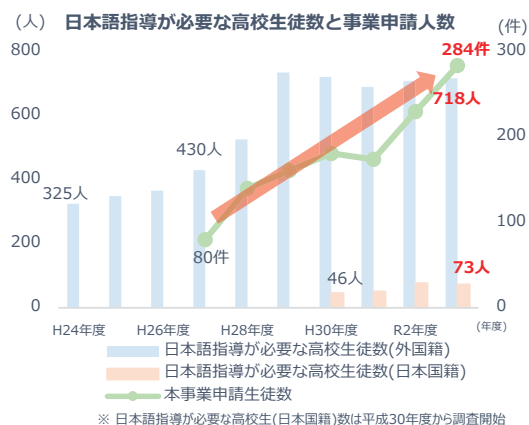
	R元年度	R2年度	R3年度
参加者	195人	238人	<b>487人</b>

### 日本語指導



### 日本語習得支援

日本語指導が必要な高校生の増加に伴い、**支援事業の規模を拡大**

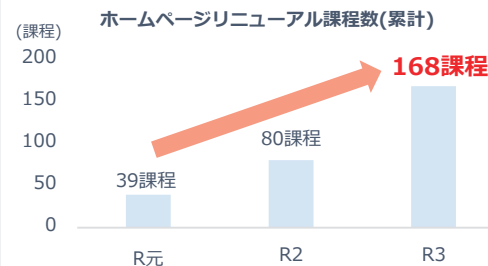


### 学校経営



### 都立高校ホームページのリニューアル

学校の特色や魅力の伝わりやすいデザインに**都立高校のホームページがリニューアル**



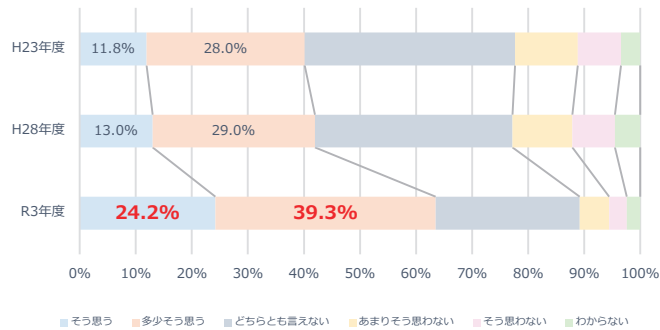
# 都立高校改革推進計画における主な取組の実績・現状

## 教員の資質・能力

### 指導力の向上

**6割**を超える都立高校生が  
現在通っている高校の先生の授業が上手であると実感

現在通っている高校の先生の授業は上手と思うか

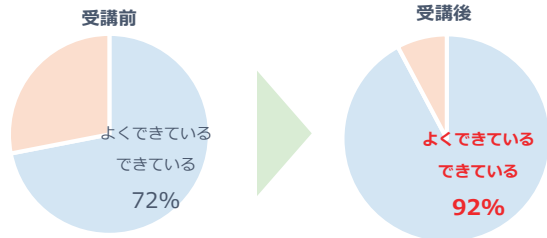


「都立高校の現状把握に関する調査（都立高校生意識調査）」

### 英語科教員の海外派遣研修

参加教員の授業に対する所属校管理職の高評価割合が上昇

英語によるやり取りを豊かにするための工夫のある指導を行っている（所属校管理職の評価）



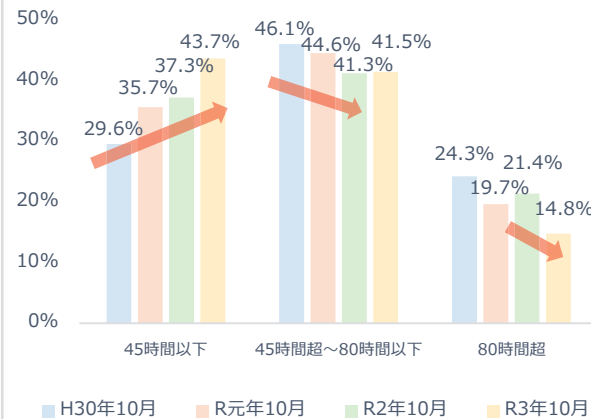
「令和3年度外国語（英語科）教員等の海外派遣研修（代替研修）に係るアンケート」

## 教員の働き方

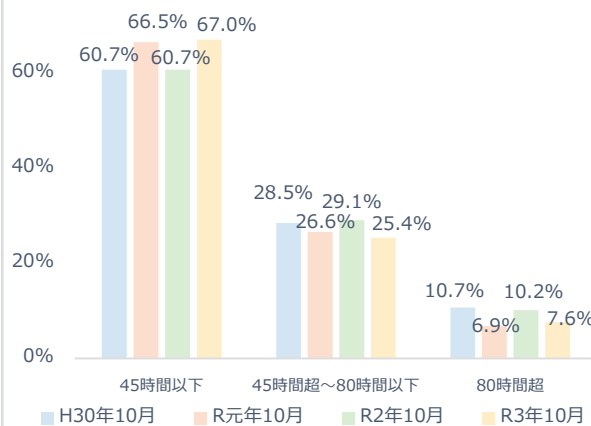
### 働き方改革

特に副校長の時間外労働時間が**減少**

副校長の1カ月あたりの時間外労働時間の割合



教諭の1カ月あたりの時間外労働時間の割合

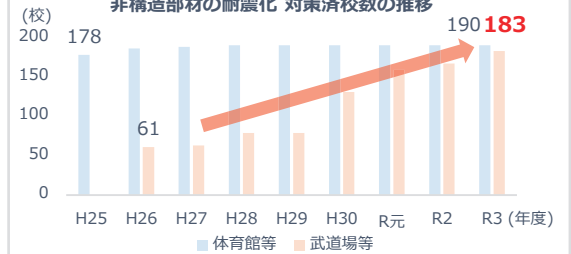


## 施設・設備

### 非構造部材の耐震化

- ・体育館はH28年度までに**全校対策済み**
- ・体育館以外はR3年度末時点で**183校対策済み**

非構造部材の耐震化 対策済校数の推移

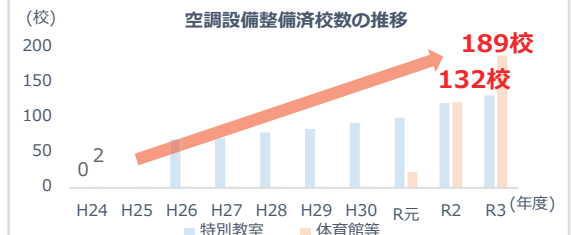


### 空調設備の整備

- ・特別教室はR3年度末時点で**132校整備済み**
- ・体育館はR3年度末時点で**189校整備済み**

※R3年度末時点 全190校中

空調設備整備済校数の推移



### トイレの洋式化

都立高校に設置しているトイレの**81.5%**が洋式化  
トイレの洋式化率(%)

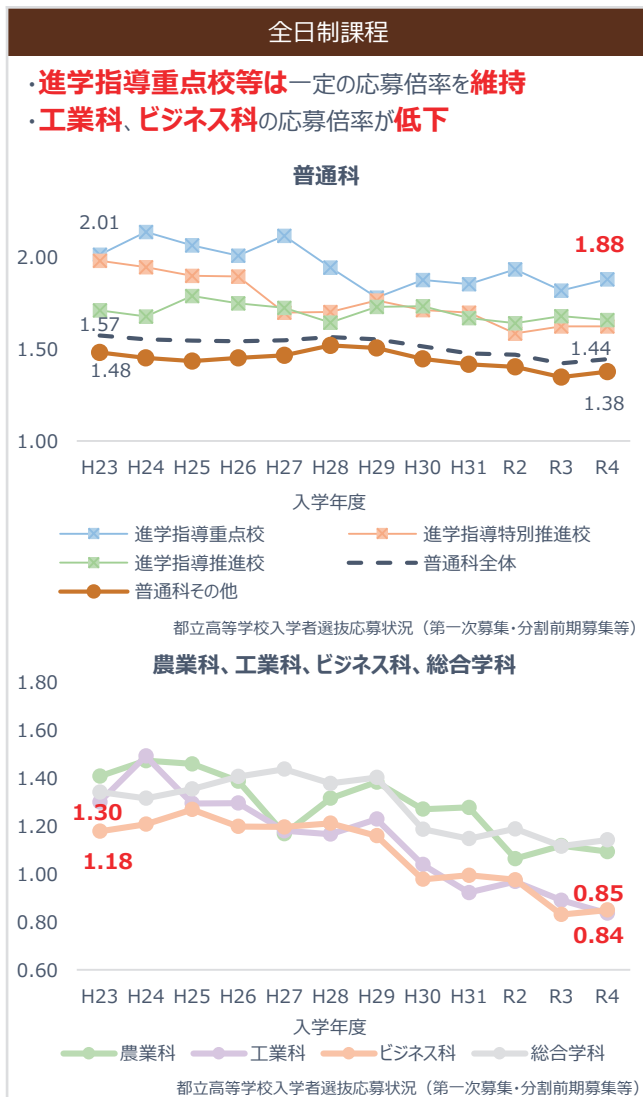




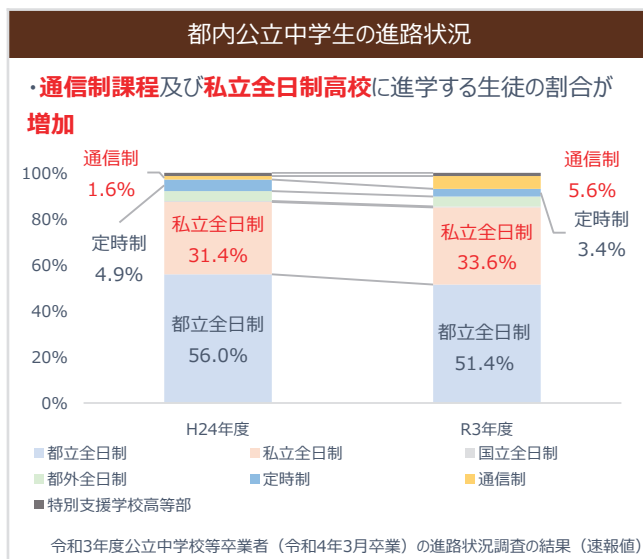
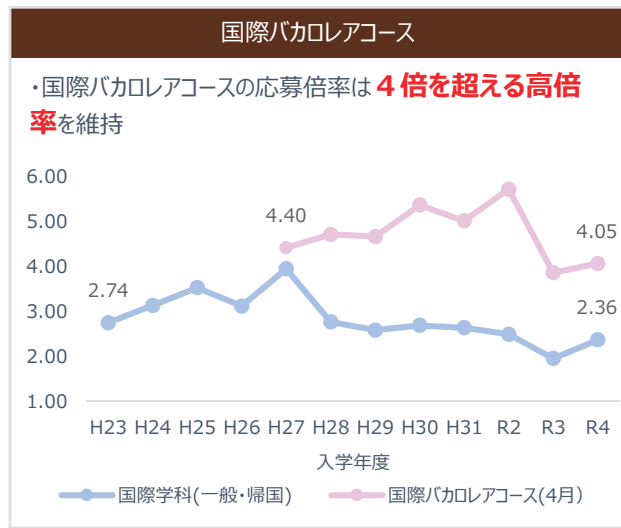
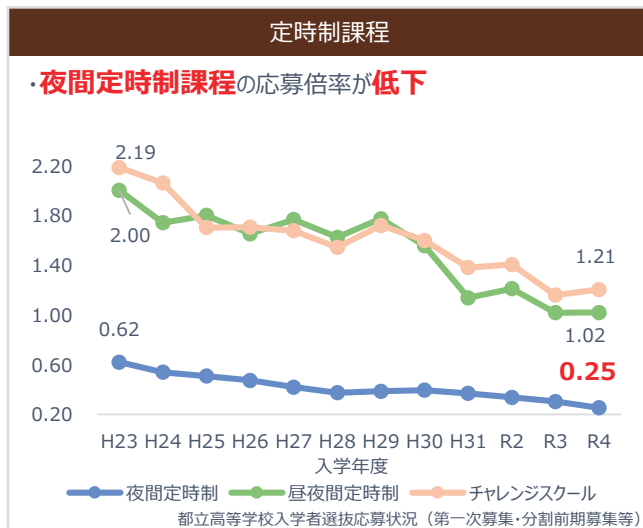
# 都立高校改革推進計画における主な取組の実績・現状

## Ⅲ 学科・課程の改善・充実等（生徒一人一人の能力を最大限に伸ばす学校づくりの推進）

### 入学者選抜応募状況



### 国際色豊かな教育環境



**国際バカロレアの充実**

国際バカロレアコースにおけるフルディプロマ取得実績が向上

第1期生	取得率	平均スコア	最高スコア
国際高校	89.5%	31.0	40
世界平均	69.6%	28.8	(満点45)

第4期生	取得率	平均スコア	最高スコア
国際高校	100%	37.8	45
世界平均	75.8%	29.6	(満点45)

## 資料4 都立高校等の学校数、学級数、生徒数

(令和4年5月1日現在)

区分		全日制	定時制	通信制
高等学校	学校数	172校	53校	3校
	学級数	3,119学級	544学級	36学級
	生徒数	115,059人	9,664人	1,544人
中等教育学校	学校数	5校	—	—
	学級数	120学級	—	—
	生徒数	4,687人	—	—
中学校	学校数	5校	—	—
	学級数	54学級	—	—
	生徒数	2,155人	—	—
小学校	学校数	1校	—	—
	学級数	2学級	—	—
	生徒数	70人	—	—

「公立学校統計調査報告書」から作成

## 資料5 都立高校等の教員数

(令和4年5月1日現在)

区分	合計	全日制	定時制	通信制
高等学校	9,450人	8,119人	1,288人	43人
中等教育学校	371人	—	—	—
中学校	115人	—	—	—
小学校	10人	—	—	—

「公立学校統計調査報告書」から作成

# 資料6 都内公立高等学校進路状況の進学者の内訳 (令和4年3月卒業)

(単位：人)

区分	進学者	大学学部への進学者計																	進短期大学 本科への 進学者計	その他
		計	人文学			社会科学			理学	工学			農学	保健	家政	教育	芸術	その他		
			文学	史学	哲学 他	法・政治学	商・経済学	社会学 他		機械工学	通信工学 電気	応用科学 他								
全定計	24,153	23,165	2,183	343	1,363	1,683	4,592	2,408	855	739	1,006	1,391	754	2,137	707	1,328	1,003	673	913	75
全日制	23,547	22,632	2,109	333	1,320	1,652	4,483	2,344	835	732	976	1,385	744	2,112	695	1,297	959	656	864	51
普通	20,274	19,618	1,905	309	1,217	1,516	3,873	2,124	764	647	831	1,207	574	1,853	584	1,113	629	472	624	32
農業	185	156	4	0	6	4	8	19	0	0	2	2	80	6	9	5	5	6	28	1
工業	606	595	7	2	6	17	35	5	30	56	92	131	36	47	3	9	95	24	9	2
商業	624	561	25	0	11	19	310	39	1	0	11	2	0	20	11	20	16	76	58	5
家庭	69	45	2	0	2	1	2	5	0	0	0	0	0	1	23	7	2	0	22	2
福祉	6	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0
その他	482	464	55	3	13	18	68	56	17	8	11	19	9	14	7	23	110	33	15	3
総合	1,301	1,189	111	19	65	77	187	94	23	21	29	24	45	171	57	120	102	44	106	6
定時制	606	533	74	10	43	31	109	64	20	7	30	6	10	25	12	31	44	17	49	24
普通	294	257	34	2	25	17	50	24	13	4	14	5	8	20	6	11	13	11	22	15
農業	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
工業	16	13	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	8	0	1	2
商業	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報	23	17	3	1	2	1	2	1	0	0	5	0	0	1	1	0	0	0	6	0
その他	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合	267	240	36	7	15	13	54	39	7	3	8	1	1	4	5	18	23	6	20	7

「公立学校統計調査報告書【公立学校卒業者(令和3年度)の進路状況調査編】」から作成

# 資料 7 都内公立高等学校進路状況の就職者の内訳(令和4年3月卒業)

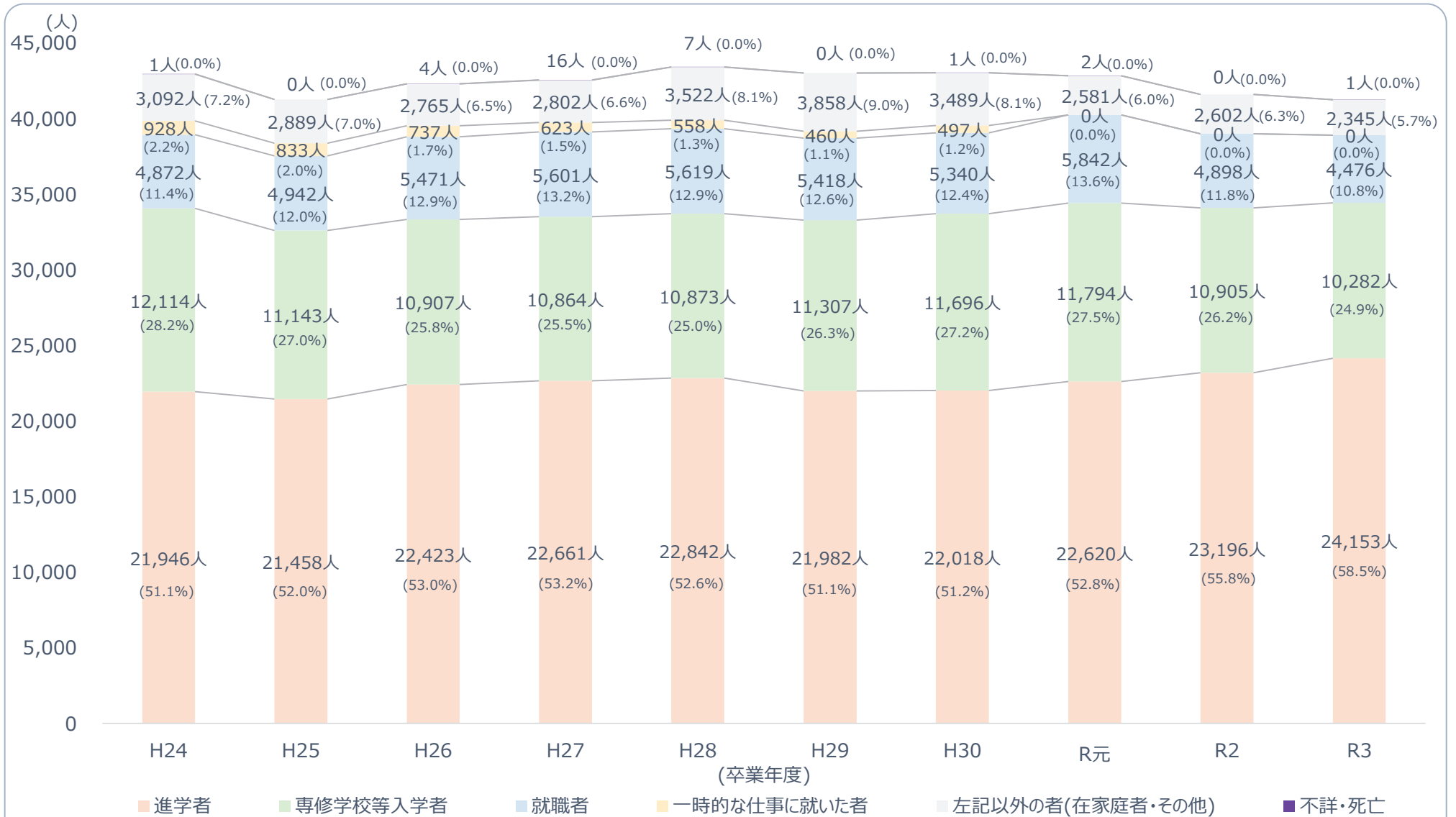
(単位：人)

区分	産業別就職者数	林業	農業	漁業	砂利採石業、工業、採石業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	郵便業	小売業	金融業	不動産業	専門・技術サービス業	学術研究機関	飲食サービス業	宿泊業	娯楽業	生活関連サービス業	学習支援業	医療、福祉	複合サービス業	サービス業 (他に分類されないもの)	公務(他に分類されるものを除く)	左記以外のもの
全定計	4,076	35	6	9	552	882	78	80	354	580	45	48	75	220	253	19	217	71	222	261	69				
全日制	3,520	29	6	9	504	806	61	68	293	486	43	43	66	167	198	17	177	57	181	256	55				
普通	1,327	5	2	1	111	194	18	11	124	228	2	11	20	71	155	11	112	29	34	142	46				
農業	138	18	0	0	9	29	0	3	7	25	0	0	4	14	4	1	4	2	8	10	0				
工業	1,303	2	0	8	344	436	30	31	90	94	2	15	30	24	8	3	13	3	96	68	6				
商業	550	2	0	0	26	113	12	19	57	119	31	15	8	32	25	1	33	10	33	12	2				
家庭	31	1	0	0	0	3	0	0	1	4	0	0	0	16	2	1	0	1	1	0					
福祉	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0					
その他	107	1	3	0	12	24	1	4	7	8	6	1	3	3	1	0	3	8	6	15	1				
総合	59	0	1	0	2	5	0	0	7	8	2	1	0	7	3	0	8	4	3	8	0				
定時制	556	6	0	0	48	77	17	12	61	94	2	5	10	53	55	2	40	14	41	5	14				
普通	344	3	0	0	25	40	6	10	38	64	1	4	5	38	31	1	29	11	23	2	13				
農業	28	3	0	0	2	7	0	0	2	0	0	0	0	5	6	0	2	0	1	0	0				
工業	62	0	0	0	14	12	9	1	7	7	0	0	3	4	2	0	0	1	1	0	1				
商業	22	0	0	0	2	5	0	1	3	8	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0				
情報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
その他	10	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0				
総合	90	0	0	0	4	11	2	0	10	14	1	0	0	6	13	0	9	2	15	3	0				

「公立学校統計調査報告書【公立学校卒業生(令和3年度)の進路状況調査編】」から作成

# 資料 8 都内公立高等学校卒業者の進路状況推移 (平成24年度～令和3年度)

【全定計】

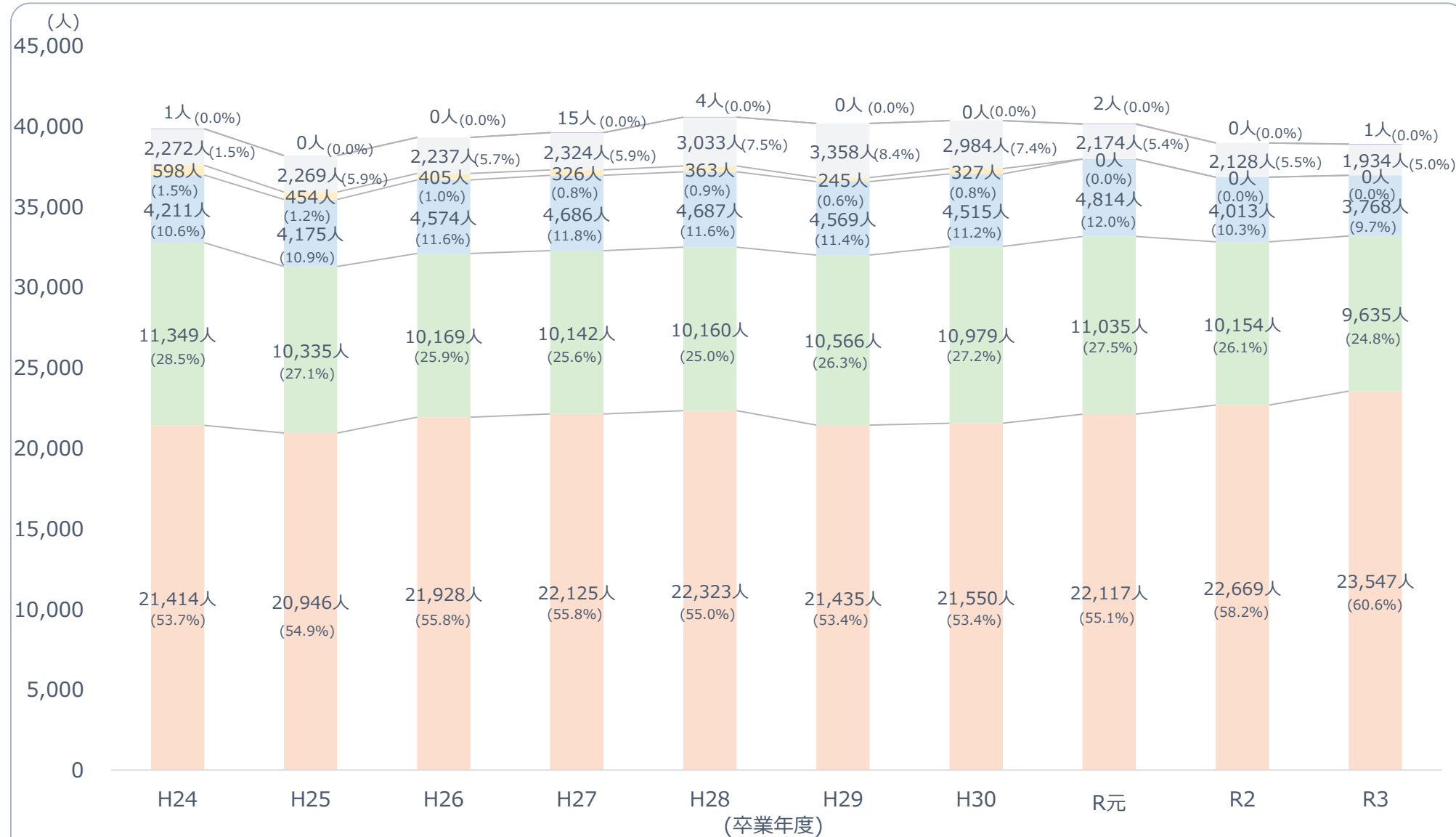


※ 通信制は含んでいない。

※ 令和元年度卒業生(令和2年度調査)から「一時的な仕事に就いた者」を廃止している。

「公立学校統計調査報告書【公立学校卒業生(令和3年度)の進路状況調査編】」から作成

# 【全日制】

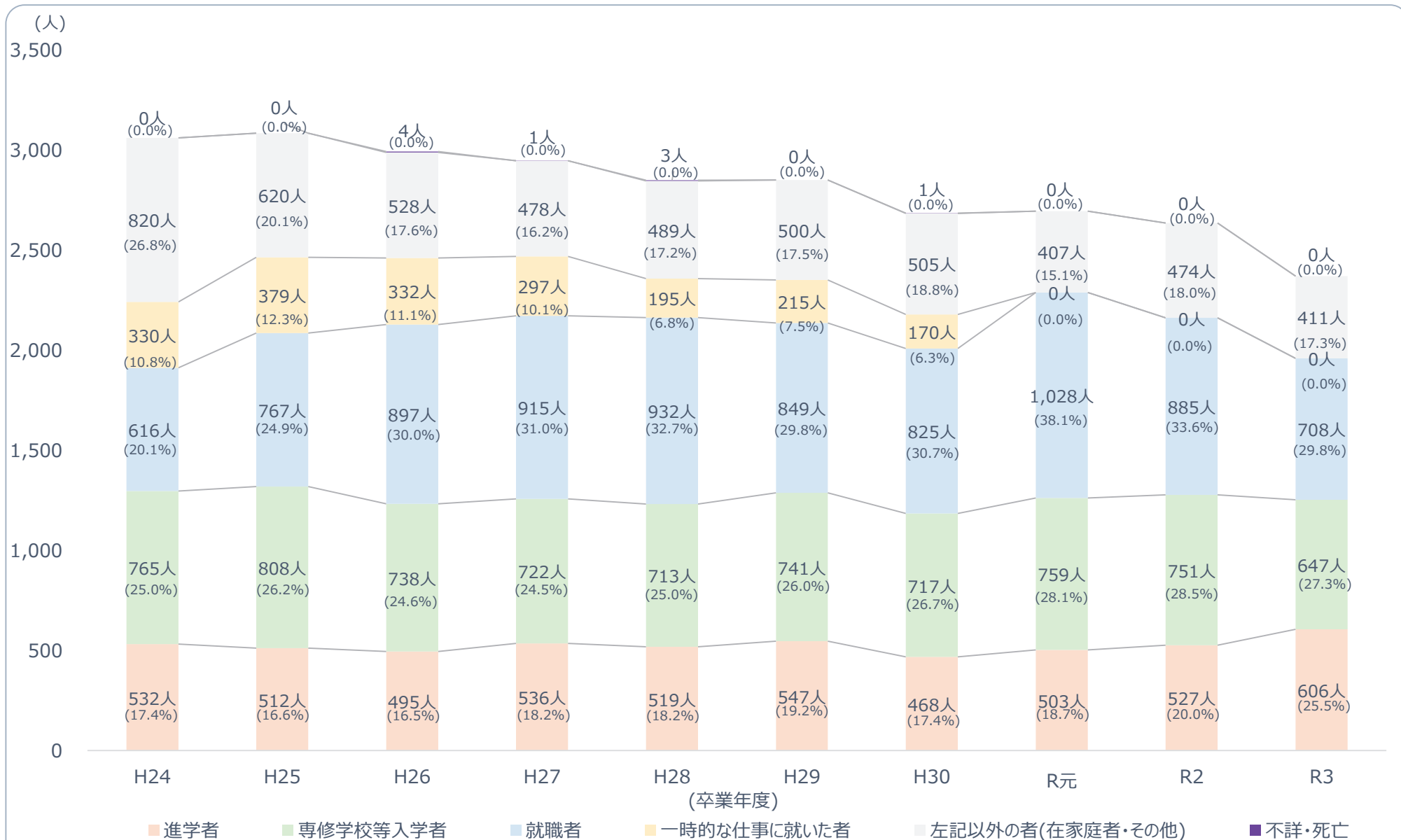


■ 進学者   
 ■ 専修学校等入学者   
 ■ 就職者   
 ■ 一時的な仕事に就いた者   
 ■ 左記以外の者(在家庭者・その他)   
 ■ 不詳・死亡

※ 通信制は含んでいない。  
 ※ 令和元年度卒業生(令和2年度調査)から「一時的な仕事に就いた者」を廃止している。

「公立学校統計調査報告書【公立学校卒業生(令和3年度)の進路状況調査編】」から作成

# 【定時制】



■ 進学者    ■ 専修学校等入学者    ■ 就職者    ■ 一時的な仕事に就いた者    ■ 左記以外の者(在家庭者・その他)    ■ 不詳・死亡  
 ※ 通信制は含んでいない。  
 ※ 令和元年度卒業生(令和2年度調査)から「一時的な仕事に就いた者」を廃止している。

「公立学校統計調査報告書【公立学校卒業生(令和3年度)の進路状況調査編】」から作成

## 資料9 都立高校定時制課程の学校数・生徒数の推移

		昭和40年度	平成2年度	平成27年度		平成30年度		令和4年度	
		夜間定時制	夜間定時制	夜間定時制	昼夜間定時制	夜間定時制	昼夜間定時制	夜間定時制	昼夜間定時制
学校数		110校 11分校	106校 3分校	44校	11校	44校	11校	41校	12校
				計 55校		計 55校		計 53校	
定員		64,600人	30,540人	9,630人	8,760人	8,130人	8,850人	6,840人	9,480人
				計 18,390人		計 16,980人		計 16,320人	
在籍生徒数		54,571人	22,518人	5,978人	6,942人	4,484人	7,022人	2,485人	7,179人
				計 12,920人		計 11,506人		計 9,664人	
学級定員		50人	30人	30人	30人	30人	30人	30人	30人
学級数		1,292学級	1,018学級	321学級	292学級	271学級	295学級	228学級	316学級
				計 613学級		計 566学級		計 544学級	
1学級当たりの 平均在籍生徒数		42.2人	22.1人	18.6人	23.8人	16.5人	23.8人	10.9人	22.8人
募集人員		17,025人	7,500人	2,550人	2,125人	2,010人	2,215人	1,680人	2,485人
				計 4,675人		計 4,225人		計 4,165人	
在籍生徒数		16,340人	6,490人	1,750人	2,165人	1,030人	2,125人	529人	2,286人
				計 3,915人		計 3,155人		計 2,815人	
学級数		341学級	250学級	85学級	73学級	67学級	76学級	56学級	85学級
				計 158学級		計 143学級		計 141学級	
1学級当たりの 平均在籍生徒数		47.9人	26.0人	20.6人	29.7人	15.4人	28.0人	9.4人	26.9人
単学級数		22校	22校	17校	—	27校	—	35校	—
【参考 都内公立中学校卒業者】 定時制(都内公立・私立、都外) 進学者のうち就職している者		88.3%	24.9%	1.0%		0.8%		0.2%	

※ 平成27年度及び平成30年度、令和4年度の昼夜間定時制欄についてはチャレンジスクールを含む。



# 資料10 都立高校の種類 (令和4年度現在)

普通科 134校 (中高一貫教育校含む)			
<p><b>進学指導重点校 7校</b></p> <p>難関国立大学や国公立大学医学部医学科への進学を目指す学校</p>	<p><b>進学指導特別推進校 6校</b></p> <p>国公立大学や難関私立大学等への進学を目指す学校</p>	<p><b>進学指導推進校 12校</b></p> <p>優れた教育活動を実践するとともに、生徒の着実な学力の伸長を図り進学実績の向上を目指す学校</p>	<p><b>インカレツジスクール 4校</b></p> <p>小・中学校で十分に能力を発揮できなかった生徒のやる気を育てる学校</p>
専門学科			
<p><b>農業科 8校</b></p> <p>農業分野のスペシャリストを育成</p>	<p><b>工業科 16校</b></p> <p>工業各分野で活躍できる技術者を育成 (※インカレツジスクール2校含む)</p>	<p><b>ビジネス科 7校</b></p> <p>「ビジネスを考え、動かし、変えていく」人材を育成</p>	<p><b>産業科 2校</b></p> <p>広い視野を持った起業家や自営業の後継者を育成</p>
<p><b>海洋国際科 1校</b></p> <p>海洋課題に対応できる人材を育成</p>	<p><b>家庭科 7校</b></p> <p>調理、保育、服飾など生活産業のスペシャリストを育成</p>	<p><b>福祉科 2校</b></p> <p>社会の援助者として行動できる人材を育成</p>	
<p><b>科学技術科 2校</b></p> <p>実験や研究を通じて科学技術を学び、理系大学などへの進学を目指す (※進学指導推進校1校含む)</p>	<p><b>ビジネスコミュニケーション科 2校</b></p> <p>英語とビジネスの学習を重視し、文系大学などへの進学を目指す</p>	<p><b>創造理数科 1校</b></p> <p>理数系分野の素養育成に重点を置きながら、新しい価値を生み出すことのできる人材を育成</p>	<p><b>国際科 1校</b></p> <p>国際社会で活躍できる人材を育成 (※進学指導特別推進校)</p>
<p><b>体育科 2校</b></p> <p>スポーツ・保健体育に関する実践者・指導者として活躍する人材を育成</p>	<p><b>芸術科 1校</b></p> <p>芸術の発展に寄与する人材を育成</p>		
総合学科(10校)			
自らの将来の進路について深く考え、多様な選択科目の中から進路希望に応じた科目を履修し、職業決定に必要な能力や態度を育成			

## 夜間定時制高校 41校(全日制併置校含む)

- ▶ 昭和50年代中頃まで、勤労青少年など昼間に通うことができない生徒の学習機会を確保する役割を担う
- ▶ 現在では、不登校経験がある生徒や全日制高校を中途退学した生徒、外国人生徒、特別な支援を要する生徒など、在籍している生徒が多様化

普通科 24校

農業科 5校

工業科 10校

商業科 4校

産業科 1校

総合学科 2校

## 昼夜間定時制高校 6校

- ▶ I部（午前部）、II部（午後部）、III部（夜間部）から、自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて通学可能な定時制高校
- ▶ 1学級30人規模であり、基礎・基本を重視した授業を実施
- ▶ 習熟度別授業や少人数授業など、きめ細やかな授業も実施
- ▶ 職業に関する専門科目や、デザイン・ビジネス・ファッション等特色ある科目も選択可能

部	I部				II部				III部			
時限	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
時間帯	8:50～12:25				13:10～16:45				17:20～21:10			

普通科 6校

情報科 1校

情報分野のスペシャリストを育成

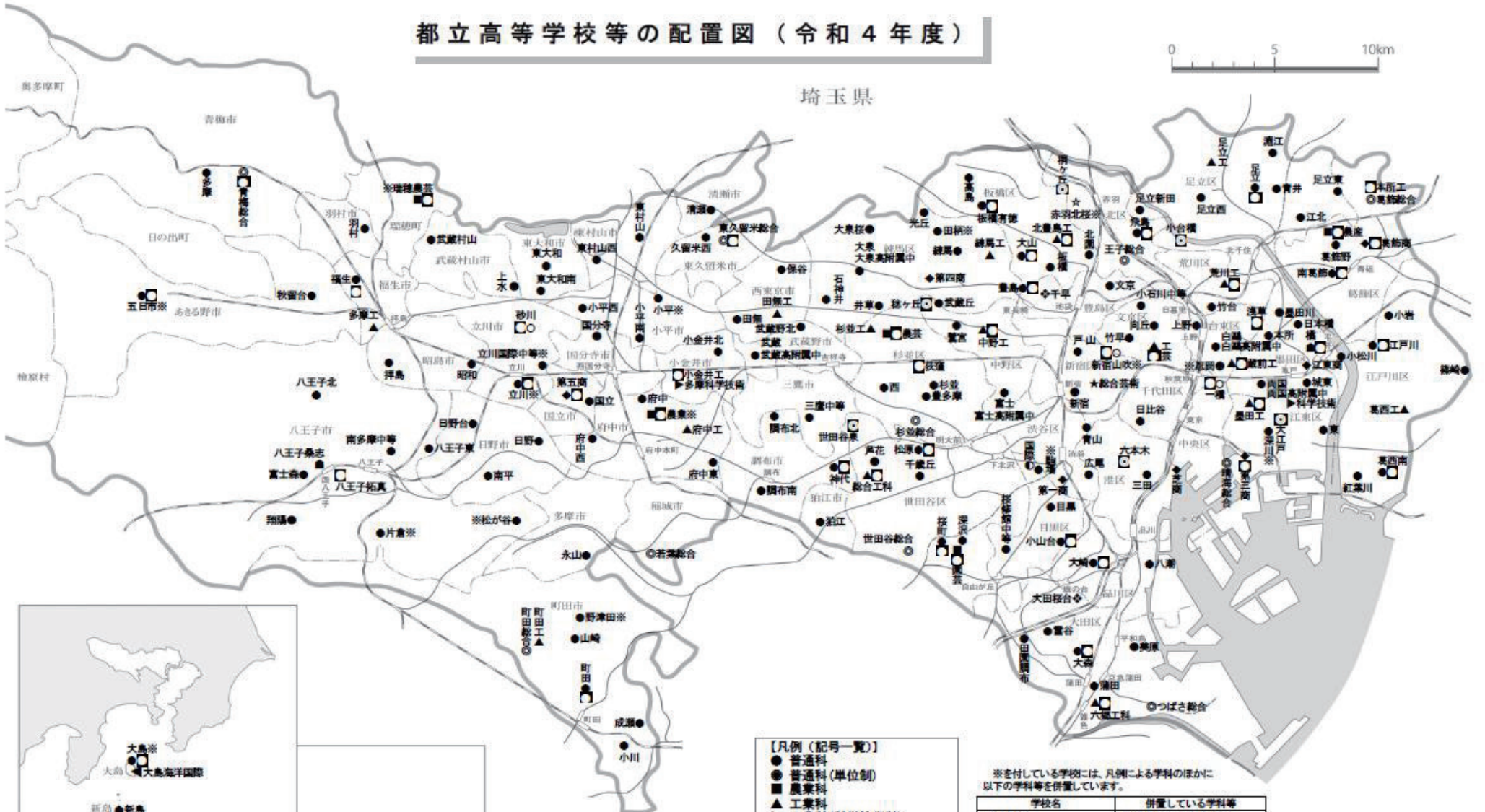
## チャレンジスクール 6校

- ▶ 小・中学校での不登校経験や、高校での中途退学経験のある生徒が、自分の目標を見つけ、チャレンジする高校
- ▶ 基礎・基本重視の学習、心のケアに配慮したきめ細かな指導・豊かな人間性を育成
- ▶ 学力検査ではなく、生徒の学習や学校生活への意欲を重視した入学選抜を実施
- ▶ 他部履修により3年間での卒業も可能

## 通信制課程(3校)

# 都立高等学校等の配置図（令和4年度）

埼玉県



- 【凡例（記号一覧）】
- 普通科
  - 普通科(単位制)
  - 農業科
  - ▲ 工業科
  - ▲ 工業科(科学技術科)
  - ◆ 商業科(ビジネス科)
  - ◆ 商業科(ビジネスコミュニケーション科)
  - ◆ 産業科
  - ▲ 海洋国際科
  - ★ 家庭科
  - 国際科
  - ★ 芸術科
  - ◎ 総合学科
  - ▼ 高等専門学校
  - 夜間定時制
  - 昼夜間定時制
  - 昼夜間定時制(チャレンジスクール)

※を付している学校には、凡例による学科のほか以下の学科等を併置しています。

学校名	併置している学科等
田沼高校	外国文化コース(普通科)
深川高校、松が谷高校	外国語コース(普通科)
小平高校	造形美術コース(普通科)
片倉高校	ことばと情報コース(普通科)
五日市高校	体育科
野津田高校	体育科、福祉科
立川高校	創造理数科
赤羽北桜高校	介護福祉科
志岡高校、瑞穂農芸高校、農業高校	家庭科
大島高校、三宅高校、八丈高校	併合科
立川国際中等教育	附属小学校

凡例

- 都県界
- 特別区・市・町・村界
- J R 線
- その他鉄道

## 第1部 都立高校の魅力向上に向けた実行プログラムの策定

### 1 実行プログラム策定に当たっての背景

#### 都立高校を取り巻く状況

##### 急速に変化する社会構造

- **社会生活のDXによる変化**
  - ・ AIやビッグデータ、IoT、ロボティクス技術等の先端技術が飛躍的に進化するなど社会生活が変化
- **グローバル化の加速**
  - ・ DXの進展に伴いグローバル化が加速する中、社会の変化に対応し、東京が持続的に発展していくためには、共生社会の実現や新たな時代を切り拓く人材の育成が重要
- **コロナ禍による影響**
  - ・ 様々な不安や悩みを抱える生徒など、多様な背景を持つ生徒の存在が一層顕在化
- **質の高い教育の実現**
  - ・ 高い意欲と資質をもった教員の確保や働き方改革の推進など、学びを支える教員への支援が必要

##### 国の動向

- **中央教育審議会による答申**
  - ・ 子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現
  - ・ 生徒の学習意欲を喚起し、可能性・能力を最大限に伸長する教育活動への転換
  - ・ 高校は、初等中等教育の最後の段階として在学中に主権者としての自覚を深めさせることが必要
- **国による規定等の整備**
  - ・ 新しい時代の教育の実現に向け、高校に期待される社会的役割等の再定義や普通科の弾力化など、高校の特色化・魅力化を推進

##### 東京都における施策等の動向

- **「東京都教育施策大綱」の策定**
  - ・ 東京の目指す教育の実現に向け、「東京型教育モデル」を提示
- **「『未来の東京』戦略 version up 2023」**
  - ・ 子供が自分らしく健やかに成長できる社会の実現
  - ・ 将来を担う子供たちへの様々な支援を展開
- **子供政策連携室との連携**
  - ・ 「こども未来アクション」による総合的な施策展開
  - ・ 組織横断的な取組の推進（ヤングケアラー、ユースヘルスケア、日本語を母語としない子供など）

#### 都立高校の現状

##### 都立高校改革推進計画(平成24年度から令和3年度まで)

生徒を「真に社会人として自立した人間」に育成することを目的に、総合的に取組を推進

##### 【主な取組】

- 大学等への進学指導の充実
- グローバル人材育成に向けた海外留学支援
- 専門高校の改善・充実
- チャレンジスクールの新設
- スクールカウンセラー等の配置による教育相談体制の整備

➤ **進学実績の向上や中途退学率の低下など、一定の成果**

#### 新たな課題

##### 困難を抱えた生徒の存在

- ・ 不登校生徒や日本語指導が必要な生徒、ヤングケアラーといった様々な支援が必要な生徒が一層顕在化

##### 都内公立中学生の進路状況と都立高校入学者選抜応募倍率

- ・ 広域通信制を含む通信制課程に進学する生徒の割合が増加するなど、進路が多様化
- ・ 入選倍率が低下傾向にあり、特に専門学科や夜間定時制で顕著

##### 都立高校に対する都民や企業からの期待・要望

- ・ デジタルの活用やグローバル人材の育成、国際交流の機会拡大等

▶ **都立高校を取り巻く環境が変化中、新たな課題等の解決とともに、都立高校の魅力向上を図るための施策をプログラムとして体系化**

## 2 実行プログラムの基本的な考え方

### プログラムの性格等

#### 都立高校の魅力向上に向け、新たな課題等に対応するための当面のプログラム

Point① 3つの施策の方向性に基づき集中的に施策を展開(令和4年度を含む令和6年度まで)

Point② 取組内容について毎年度ブラッシュアップするなど、状況の変化等に応じて柔軟に対応

### 3つの施策の方向性

#### 生徒一人一人の能力を伸ばす

#### I 自ら未来を切り拓く力の育成

自ら課題を発見し解決する力や他者と協働し新たな価値を創造する力など、変化の激しい時代を生きる上で必要な資質・能力を育むため、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばす取組を推進

#### 様々な困難を抱える生徒を支える

#### II 生徒目線に立った支援の充実

誰一人取り残さない教育の実現に向け、全ての生徒が家庭の状況等にかかわらず安心して教育を受けられるよう、学校や家庭、専門機関等が連携し、個々の生徒に応じた支援を充実

#### 生徒や社会のニーズに応える学校づくり

#### III 質の高い教育を実現するための環境整備

中学生やその保護者に選ばれる都立高校を実現するため、民間企業等の多様な主体を活用し教育環境の充実を図るとともに、生徒や社会のニーズに応える特色ある学校づくりを推進

生徒一人一人に応じたきめ細かな教育を推進し、未来の東京を担う人材を育成

## 3 令和7年度以降に向けて

### 実行プログラムの検証

- 3つの施策の方向性において指標を定め、成果を検証しながら、施策を着実に推進

### 実行プログラム後の方向性

- 令和7年度以降の都立高校の在り方等については、生徒数の推移や来年度策定予定の「東京都教育ビジョン(第5次)」との整合性を図りつつ検討

## 第2部 都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム

### 1 実行プログラムにおける施策の体系

#### ▶ 3つの方向性に基づき、30の施策を展開



## 2 実行プログラムにおける主な取組

※R5年度以降に新たに取り組むものや、拡充するものに【新規】【拡充】と記載

### I 自ら未来を切り拓く力の育成

#### TOKYOスマート・スクール・プロジェクトの推進

##### 教育ダッシュボードの整備

各種データをリアルタイムに分析し可視化するダッシュボードの稼働を段階的に開始

##### TOKYOデジタルリーディングハイスクール事業の実施

AI教材やデジタル教科書等を活用した学びや、学習履歴等のデータ分析・利活用、先端技術の活用に関する実践的な研究を実施

#### 教科「情報」の充実とデジタル人材の育成

##### 情報活用能力を伸ばすための環境整備及びコンテスト等の実施【新規】

アプリケーション開発環境の整備やアプリケーション開発ワークショップ、プログラミングコンテストを実施するなど、デジタル人材の育成を推進

#### グローバル人材の育成

##### オンライン英会話の活用【拡充】

生徒がネイティブ講師とオンライン上で英会話のレッスンを行うための機会を拡充

##### JETプログラムによる外国人指導者の活用【拡充】

JETプログラムを活用した人材の配置拡充により、英語を用いたコミュニケーション機会の増加を図り、「使える英語力」の育成を推進

##### 世界のSTEAM教育視察・体験【新規】

世界水準のSTEAM教育を直接体験することにより、生徒が理数・芸術分野の研究者を目指す意欲を醸成するとともに、教員の指導力を向上

#### 探究的な学びの充実

##### 探究アドバイザーの活用

大学院生等による探究アドバイザーを派遣し、一人一人に応じたよりきめ細かな指導を充実

#### 進学指導体制の充実

##### 進学指導推進校の学力向上支援【新規】

進学指導推進校において、希望する生徒を対象に民間事業者を活用した校内予備校を土日・放課後等を実施

#### 理数教育の充実

##### 理数探究プログラムの実施(SIP拠点校)【拡充】

理数に興味・関心のある生徒への講義や研究指導を実施するSIP(Scientific Inquiry Program)拠点校の指定を拡大

#### 「得意な才能」を伸ばす教育

##### 「得意な才能」を伸ばす教育【拡充】

理数分野に加え、R5年度から芸術分野の教育プログラムを構築し、秀でた才能を持つ生徒を支援

#### 体力の向上

##### エンジョイスポーツプロジェクトの推進【拡充】

外部機関と連携し、健康的な生活習慣の実践を通して、豊かなスポーツライフに向けた都立高校生の資質・能力を向上

## II 生徒目線に立った支援の充実

### 不登校生徒に対する支援・中途退学の未然防止・ヤングケアラー等に対する支援

#### 都立学校「自立支援チーム」派遣事業【新規・拡充】

- ・福祉系YSW（主任）を増員し、「チーム学校」の観点から学校と一体化した取組を推進
- ・福祉保健局と連携し、都立学校関係者向けにヤングケアラー相談機能を充実
- ・YSWが常駐し、「校内居場所カフェ」の運営や生徒の「個別支援計画」を作成するなど、個に応じた支援を充実（R6年度以降）

#### 学びのセーフティネット事業【一部新規】

- ・不登校の生徒や通信制課程に通う生徒に対し、NPO等の外部機関と連携して学習支援等を行う拠点を東部地区に新たに開設（R4年度）
- ・仮想空間上の学習環境（バーチャル・ラーニング・プラットフォーム）を活用し、不登校の生徒や中途退学者に対する支援を充実【新規】

#### 校内別室指導推進事業【新規】

- ・校内に別室を設置し、支援員が学習指導や相談を実施するとともに、教室での授業を動画で配信するなど、別室であれば登校できる生徒等を支援

#### 社会的・職業的自立支援教育プログラム事業【拡充】

- ・企業・NPOと連携した「社会的・職業的自立支援教育プログラム」の対象を普通科のみから総合学科にも拡大
- ・ヤングケアラーの支援に関わる団体によるプログラムを本事業に追加

### 日本語指導が必要な生徒に対する支援

#### 多文化共生スクールサポートセンター事業【拡充】

- ・日本語指導が必要な生徒が在籍する学校全てを支援対象に拡大
- ・現在活用しているNPOに加えて、TEPROや大学、日本語学校等複数団体と連携した支援事業を実施

#### 「特別の教育課程」編成・実施に向けた支援【新規】

日本語指導の「特別の教育課程」を編成する高校に対し、適切な指導が実施できるよう支援

### 都立高校における特別支援教育の充実

#### 特別な支援を必要とする生徒への就労支援【新規】

発達障害等の困難を抱える生徒に対し、民間企業やNPO等を活用して就労を支援

#### ユースヘルスクアの推進

#### 生涯の健康に関する相談体制等の整備【拡充】

学校医(産婦人科医)によるヘルスクアの専門相談を行う学校を拡大



### Ⅲ 質の高い教育を実現するための環境整備

#### 学校の魅力発信

##### 学校PRの強化【拡充】

SNSによる情報発信や、民間事業者を活用した学校紹介動画の制作などの総合的な取組により、量と質の面から学校のPRを強化

#### 普通科の活性化

##### 普通科高校におけるスキルアップ促進【新規】

スキルアップ推進校において、民間教育機関等と連携し、基礎的なデジタルスキルや使える英語力、コミュニケーションスキル等を習得するための支援を実施

##### 普通科高校における新たな学科の設置の検討【新規】

都立高校を取り巻く状況の変化等に対応し、「学際領域に関する学科」や「地域社会に関する学科」の設置を検討

#### 定時制課程の改善・充実

##### チャレンジスクール及び昼夜間定時制高校の受入規模拡大

不登校生徒の増加や多様化する生徒のニーズに応じていくため、チャレンジスクール及び昼夜間定時制高校の受入規模を拡大

##### 夜間定時制高校の必要な見直し・教育内容等の充実

入学者数の動向などニーズを踏まえた上で必要な見直しを行うとともに、多様な生徒の実態にきめ細かく対応した教育内容等の充実を図るなど、望ましい学習・教育環境を確保

#### 専門学科の活性化

##### 農業高校の活性化

東京農工大学と連携し、大学教員等による講演会や課題研究に対する指導・助言、スマート農業等の体験などを実施

##### 工科高校の活性化 ※令和5年4月から工業高校は「工科高校」に名称変更

学科改編やTokyo P-TECHの導入など各施策を推進

##### 商業高校の活性化【新規】

民間事業者等によるビジネススキル習得のための講座(デジタル・会計・英語)や民間企業への職場体験を実施

##### 理数に関する学科の設置

科学技術高校の一部を改編し、理数に関する学科を区部に設置(R6年度)

#### 教員確保策の更なる充実

##### 選考内容・方法等の改善【新規・拡充】

大学3年生での採用選考の一部前倒しや、途中退職した東京都公立学校教員経験者が復帰する際の一部試験の免除など、多様な層が受験しやすい仕組みについて検討・実施

#### 働き方改革の推進

##### 職員室の環境改善【新規】

都立学校に機能的で働きやすい職員室を整備し、教員同士のコミュニケーションを円滑化

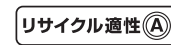
## 都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム

●令和5年3月

東京都教育委員会印刷物登録  
令和4年度 第108号

編集・発行 東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課  
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

印刷 株式会社シンソークリエイト  
〒161-0032 東京都新宿区中落合一丁目6番8号



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用